

1. 件名：第8回実用発電用原子炉の安全性向上評価の継続的な改善に係る会合の開催
についての面談

2. 日時：令和3年2月9日 13時30分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ

実用炉審査部門

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐※、御器谷管理官補佐、宮本安全審査専門職、沼田主任安全審査官

審査グループ

地震・津波審査部門

佐藤主任安全審査官

技術基盤グループ

技術基盤課

平野技術参与

シビアアクシデント研究部門

伊東技術研究調査官※、西村技術研究調査官※

地震・津波研究部門

儘田主任技術研究調査官、日高主任技術研究調査官

九州電力株式会社 原子力発電本部 安全・品質保証部長他 13名※

四国電力株式会社 原子力部 安全グループリーダー他 7名※

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループチーフマネージャー他
11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※2 音声認識ソフトにより自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

6. その他

提出資料

- ・ 第8回実用発電用原子炉の安全性向上評価の継続的な改善に係る会合で意見交換したい主な事項に対する回答（九州電力）
- ・ 安全性向上評価の継続的な改善に係る会合での意見交換事項への回答（関西電力）
- ・ 安全性向上評価の継続的な改善に係る会合での意見交換事項について（四国電力）

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	はい。それでは現規制庁ミキヤです。これから第8回に向けたFSAR会合の意見交換したい事項について、面談を始めたいと思います。
0:00:20	ではまず、事業者の方からご説明をお願いします。
0:00:26	それでは九州電力から責任を開始しますよろしくお願いたしますとニシモンしてますので、
0:00:35	九州電力の資料としましては、挙手のほうに第8回実用発電用原子炉の安全性向上非互換継続的な改善かかる介護で意見を介し最後の事故に対する回答といたしまして指導していただいております。
0:00:51	1枚資料をめくっていただきまして、1枚目のところが受けてきております。
0:00:56	また意見交換事項を整理しております、それぞれに委員長の形で回答を整理しております。
0:01:06	1枚めくっていただきましていただいた意見交換事項に対する回答を身から設定をさせていただきたいと思う。
0:01:16	はい。
0:01:17	1000 弊社の資料の右上の資料スライド2枚目のページをご覧ください。
0:01:24	いただいた意見交換事項ですけれども、確率論的リスク評価の結果を踏まえ設備や手順の改善対策等を行った結果としてCDFは改善しているのであれば、そのような事例を次回具体的に示して欲しいという意見交換事項となっております。
0:01:40	その回答方針としまして、資料を準備しております、こちらのいただいた資料を踏まえまして、当基本的にこちらの資料の作成が知らんですけども、基本的にはこれまでの安全性向上評価届け出にて、
0:01:57	だからさせていただいてる内容を再掲しているようなものとなっております。
0:02:02	粒径がこちらの回答が
0:02:08	意見交換事項のきちっとるんですけどないという内容となっている問題についてヌマタせていただきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いします。
0:02:17	弊社の資料のつくりとしましては、まず資料の2ページ目のところですけども、3本につきましてこれまで仙台玄海安全性向上評価におけるPRAを実施しております、そのPRA評価結果抽出タッチかつとして抽出した同じで物をステイしております。
0:02:36	そういったことをこちらの方からモデル化たいし、売れるかを行いまして、cfと確認した事例としていたが復興継電器のデジタル化というのがありますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	Hのほうが3ページのほうで、その具体的な内容について整理してごさいます。
0:02:54	資料2ページ目値の方も計画抽出した事例としてモデル化状況ということで整理しておりますけども、対象外というふうにしてるものにつきましては、現在そのモデル化手法する手法がないということでモデル化長としては対象外というふうに整理させていただいております。
0:03:13	あと、
0:03:15	具体的なモデル化した事例としまして実際の3ページのほうをご覧ください。
0:03:21	当社の着まして、改善対策のモデル化事例としましては、仙台12号機のメタクラ開閉装置の保護継電器デジタル化によるCDFの改善でございまして、定めた回避措置の保護継電器のデジタル化を行うことになりまして、
0:03:36	卒全体のフラジリティは改善しております。
0:03:39	改善したずつできましたの方に非常にしております、こちらも江藤式が改善されたことにより、
0:03:48	そのさらに下の表に記載しております通り、
0:03:51	CDFとかCFFにつきまして、それぞれ約5割50%、60%原点が改善がやったってということが
0:04:03	事例としてございました、直接又マタで資料を作成しております。
0:04:10	PC連絡からは以上となります。まして関西さんのほうについて御説明もありますか、お願いします。
0:04:20	はい。10と同じ部分の関西電力の部分、御説明させていただきます火災ではです。3ページのほう、当社資料3ページのほうをご覧ください。当社のほうにつきましては、当やらの結果を踏まえた説明の改善対策として、安全性向上対策の安全性向上評価届け出のほうに記載させ、
0:04:40	いただいております。一般CPシャットダウンシールの導入ということで、少し考え方も含めてブレークして記載させていただいております。3点目のほうではですね、34号の検討事例ということで書いてますけどもレベルはPRAの結果高レベル1.5のPRA結果、それから一番左のほうにあります。
0:05:00	対策検討の社内の目安とこういったところからですね、原子炉補機冷却水系の機能の喪失による炉心損傷、それから格納容器過圧破損モードによる拡大期の喪失、これらを安全性向上対策を検討する対象として抽出している。
0:05:16	ということでございまして、結果して、RCPシール機能の信頼性向上という対策を追加として選定してございます。4ページ目のほうでございまして、具体的なCDFの評価はですね現在モデルに反映して実施中ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:36	結果につきましては次回、今後のですね、安全性向上評価の際に報告させていただく予定ですが、得られるべく、考えてるの効果としまして、この上の絵にありますようにシール水が停止した場合でも資料化を防止すると。
0:05:53	右側のちょっとフロー、簡単なフローがありますけども、シャットダウンシール動作成功すればですね、漏えいなしというシナリオができますので、この場合はですねこれまでRCPシールLOCAが発生した場合に必要な恒設代替低圧注水ポンプによる注水とかですね、そういったところが割愛できるということとして、
0:06:14	僕は低減できるであろうというふうに考えているというところがございます関西電力資料は以上です。
0:06:23	続きまして四国電力 10 万フジムラの方から四国電力の資料について御説明させていただきます。
0:06:31	まず資料の 2 ページをご覧ください。
0:06:34	ここでは初回の安全性向上評価においてリスク情報から得られた追加措置ということで対応した記載しておりました。牽制の補機冷却水ポンプの待機除外時における原子炉補機冷却水系等の負荷低減の運用の整備ということで内容の方を前で記載してございます。
0:06:53	まず追加措置の概要ですが、設備のトラブル等によってCCWポンプ、1 台が分配一覽予定となった場合でも、機器の過負担のトリップによって原子炉補機冷却水系の喪失に至ることがないように、CCWポンプ 1 台が待機除外時に原子炉補機冷却水系の負荷を制限する運用、
0:07:12	というものを開始、令和 2 年のほうから開始しております。
0:07:16	運用によって壊れるシナリオというところの概要次に記載してございます。
0:07:24	中身としましては原子炉補機冷却水系当社の場合は 22 系統で構成されてまして、角形等にCCWポンプが 2 台、合計 4 台設置されているんですけども、通常は 8 系統が 1 台ずつ合計 2 台が運転しております。
0:07:39	CCWポンプ 1 台が補修等のために待機除外時待機除外になった場合、もう確定等のCCWポンプ 2 台の方が提言系の保障とかで機能喪失した場合は、CCWポンプ 1 台運転となり、さらに 1 台は
0:07:56	待機除外になっているということで、その残った 1 台が繰り越してしまうと原子炉補機冷却水系の全喪失に至るということで、これが初回の安全性向上評価では影響が大きかったということでこの対策を打ったということになります。
0:08:11	現在
0:08:13	実際に評価した結果を対外的に公開しておりませんが、この改善効果ということで、初回の安全性向上評価の内レベル案の内的のAPRMモデルを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	もとに簡易評価を実施しております。その結果、原子炉補機冷却水系の全喪失。
0:08:32	事故シーケンスグループのCDFは改善しまして、全CDFで約 10%の低減になったということの結果になってございます。説明は以上です。
0:08:47	はい、ありがとうございました。ここで一旦区切った形よろしいですね。
0:08:54	はい、ここで一旦区切らせていただいていたいたきたいと思っております。
0:09:02	はい。
0:09:03	規制庁のミキヤですけれども前回の第 7 回の会合でちょっとこの御質問させていただいて、趣旨はもつといろいろと取り組みがあつて、いろいろな児童事例があるのではないかなあと。
0:09:18	いったところが根底にあつたんですけれども、九州電力の資料でいうと、これまで御説明いただいた、このメタクラのデジタル化というところが 1 事例で定期的にそれ以外には非常に法的には。
0:09:34	まだないと。
0:09:36	関西電力と四国電力については、四国電力さんは逆にちょっと追加ですけどこれは、
0:09:42	今まだ出てきていないんですけども、ちょっと確認が取れなかったんですけども、
0:09:50	すみませんできていないということですかね、基本的に運用始まっていますのでこの対策はできておりますが、FSARの届け出としてまだ盛り込まれていない話。
0:10:02	ということですかね。その通りです。
0:10:06	九州の場合でいいますと、災害ではこういった事例が出てきているのはちょっと承知しました玄海とかでは特にないと。
0:10:15	というようなことなんですかね。
0:10:19	九州電力のシノザキです。委員会のほうにつきましても、設備の対策として抽出されたことをしました特重施設の追加による効果ということを言っておきまして、それがづらいのページ、Hzぐらい。
0:10:35	後ろのスライド 2 ページ目のところに達しています。当日も特重設の導入 2 月経営リスク低減効果が期待されますということで直線のポンチ絵でモデル化予定例をまず具体的な数値と効果といったものについては、
0:10:50	出ていない状況でございます。
0:10:55	やはり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	もう1点ちょっと拡大したかったの今、九州電力の方から島今後特重の話がありまして資格者共通でまず特重話がいずれかのタイミングで入ってくるというのは承知しました。
0:11:11	関西電力の資料においては、プレート間リスクの大きさ所作cfー規模発生頻度か発生時のCDFの寄与できんすけ社内目安がありますということなんですけれども、こういった観点で、訓練の取り組みっていうものが、
0:11:30	朝日新聞の資料においては特にないのかなってんですが具体的に何か計画というのがあるんでしょうか。あと他の電力においては独自の話は置いてそれ以外で具体的にあっての今も分かる範囲で教えていただければと思うんですけども。
0:11:51	関西電力スガワラでございます。今ご質問いただいたこの3ページの社内目安を使っている今後どうする予定かというところですけども、こちらの安全性向上届け出の際にはですね、都度このふやすを使って追加措置を検討することになってございますので、それぞれの
0:12:10	PR円を実施するアズ施工上届け出の中で今一度この表をあわせますと比較して新しい対策等検討していくという予定でございます。
0:12:22	あと先ほど九州電力さんからございました。
0:12:26	フィルターベントの導入ですとか、教育訓練の強化こういったところにつきましては、ちょっと記載できておりませんが我々のほうもすでに提出済みの安全性向上届け出の中でですね措置として日上げしているものでございます。
0:12:41	以上です。
0:12:45	はい。
0:12:46	四国電力フジムラです弊社の回答させていただきます。基本的に弊社も今考えたのか御説明あった通りで、同じように今後の届け出においても高低差の記載しているような目安をもとに評価をしていくということになります。また特重施設につきましても、
0:13:05	これも紹介の安全性向上評価の中でのこの表に基づいて評価をした場合に対策として挙げておりまして、提訴の方を届け出の中にも記載しております。何回かこの資料のほうには記載はできておりません。以上です。
0:13:26	九州電力のシノザキですと九州電力の下段、九州年度上期におきましても同感体験を
0:13:35	ここサーベイ汚い皆さんに基づいて追加措置のほうを抽出してしております。こちらのほうに記載しているものが主な事項となっております、教育訓練の強化ですとかそういったものが主な取り組みとして抽出されておりました。
0:13:53	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:54	本回答は以上になります。
0:13:57	はい、ありがとうございました規制庁ミキヤですね、鉄塔間ちょっと私の勝手なイメージとしては、CCFの寄与割合が高い順から12、潰していくというか、CDFの低減等を図っていくのかなあと思っていたんですが、まず基本的にそのヒアリング等で、
0:14:17	基本的に潰せとか全部潰してしまって、普通の変更があれば、そこは今後そんな新しい課題というものを抽出して潰していくってことなので、今の時点で長期的に今後こういうふうにやっていきますという方針がないということで理解しました。
0:14:35	規制庁側でまず個人の方々が何かその他ありますでしょうか。
0:14:41	ちょっともしかしたら遠いし確認いただいたほうがいい。
0:14:46	はい。なんででしょう。
0:14:48	青イトウですけどちょっとパワーポイントの質問があるんですかね。
0:14:52	当然9電さんの資料のパワーポイントの2ページ目ですけど。
0:15:00	ここでの教育訓練の強化ということで一応個人的なつつ対象外と書いてあんですけど、ちょうど対象外だと全然の数字払えないからですねちょっと先ほど言われたように基本の検討が必要だということがわかるようにこう書いてもらえばいいと思うんですけど、回収がどうもともと
0:15:19	幾ら訓練しても評価には入れませんというのは感じてしまうんですか。
0:15:24	それが1点ですよ。
0:15:28	そこはどうですかね、9電さん。
0:15:30	はい研究戦略局のシノザキです。局長の方がみんな手法がないというところわかりにくい記載になっていうか求めますので、ふたもわかるようにそちらの方修正していきたいなというふうに思います。表層ます。
0:15:46	あと2点目の設備の対策なんですけど、アノンのメタクラ等のデジタル化と書いてあるんですけどこれはこれ以外にですね、再循環の手動起動に切り換えとかそういうやつは、このFSRを考えてないんですけど。
0:16:06	九州電力のシノザキですと再循環モードへ自動切替についても洞道現在その災害のほうできちんと検討中という状況でございます、
0:16:19	県検査な検討中という状況でございます。
0:16:24	そういうのはですね、逆にこのモデル検討じゃなくて検討中であれば検討中というふうにはですね、ちょっとほら、大飯と比べて9電さんのやつは、指導がどうかでちょっと資源が違うんでそこは検討中であればですね設備対策で、そこをちょっと言ってもらえればですね、
0:16:43	メタクラ以外にもあるということがわかると思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:51	ちょっとそこをじゃあ検討おさまってよろしいですかね。
0:16:55	はい、了解いたしました。
0:16:58	あと43ページ目ですね、この大間メタクラのデジタル化が入ってるんですけど、ちょっと補足と目につくなぜレンタル会社ですねこの体力が
0:17:11	0.82から1.90なるかというのがちょっとこの文章だけ読んだらわからない部分があってですね、それは何か補足に入れることができますか。
0:17:25	はい、ここにもサイト記憶力のイトウ。
0:17:30	向上したっていう事例は不特定の二つの資料だと低下させていただきたいと思います。
0:17:37	よろしくお願いします。
0:17:40	あとちょっと今、次は関連3の資料なんですけど。
0:17:45	3ページ目にですね、サトウが資料で一番下の一番下の部分が安心しているの規制しなせ公表というふうに言ってんですけど。
0:17:56	ちょっと急にこれを受けてくと非常に若いんですね、進行の低減のためにRCPの終身なぜ向上を図ったのでちょっとその整合化の低減というのがですね、どっか言葉に入らないんですけど、ちょっとこれだけで補機冷却の機能喪失と信頼性向上の
0:18:14	ちょっとすぐには結びつかないんですけど。
0:18:18	患者さんどうですかね、カワヅ率はそれと今教えて欲しい部分、4ページのほうにちょっと記載してちょっと説明が分かれてるんですけども3ページのほうにもなにがしかじゃあの言葉を追記させていただきますと、あと4ページ目の指導カンノ者同士なんですけど。
0:18:37	これ不安原理的なことだとわかるんですけど、実際は実験などですねそういう検証はなされてるんですかね、そこはどうですか。
0:18:49	今当社の場合はシャッターシルウェスティングハウスの方から導入しているものです。Westinghouseのほうで試験等を実施しているデータは我々もいただいています。
0:19:01	もうほぼじゃあ逆に言えばそういう試験がどうしても後でなければなんてこんなところで導入してるっていうんですね。
0:19:07	とりあえず、
0:19:10	／変わります、ちょっとちょっと9年等家嫁さん南西どこの
0:19:17	資料がカ年さんと違うってことはわかってるんですけどこれは、
0:19:21	9電さん4電さんはこのシャットダウンシートが導入できないんですがまだ検討してないという状況なんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:37	すいません四国電力ですけれども、弊社の場合ですすね三菱作成のRCPBを使っておりまして、についても機能ということで、現在、またシャットダウンしているといったものは三菱社製のRCPでは
0:19:57	しておりませんで、現在電力代といったところで会釈ダムシールの開発をメーカー等とともに進めている状況でありまして、現段階で設置取り込むということとはできないという状況です。
0:20:13	はい、値上げで患者さん使えてまして直しちゃって三菱さんが違うもんだからなんかを原料とWestinghouse正圧は実験で明らかになってるから使うと、それがまだ今検討中というそういう位置付けでいいですかね。
0:20:30	はいその通りである導入を検討中といったところですかはいありがとうございました。以上です。
0:20:36	ありがとうございます。その他ございますか。
0:20:45	すみません、規制庁に基づくけども、患者さんにお聞きしますというシャットダウンしているとどういところの4ページのところなんですけども、QAD市立処置した場合に動作をしておりますけども、これに不安流れを見てて作動させるということでもよろしいですか。
0:21:06	カ年スガワラです。シール水を注入するポンプはとまりますと、今度の温度が上昇していきますと、温度が上昇しますと、この資料の中にあります。なんていうか多い溶剤といいますか、これらの膨張しまして勝手にサトウダウンが作動すると、そういう機構です。
0:21:26	わかりました。じゃあ、この右のほうにあって、
0:21:30	操作失敗に至りますけどこれかなり信頼性高いと思っていいと思っていいですかね。
0:21:36	はい。そういう認識です我々も。はい、何が主管を非常に小さい数字を設定することになりますけれどもゼロではないというぐらいです。はい、ありがとうございました。次なんですけど。
0:21:51	2ページのところで、運用変更されたってあるんですけども、具体的にこれって、自動で作動するような何か指導であるような何かちょっと教えていただけますか。
0:22:04	お答えさせていただきます四国電力ニシムラですけれども、これは運用ですので、手動で対応することになりますCCWポンプ4台あるうちの1台が待機除外になるというような状況に負荷制限をかけるということでヤマハから6ような機器を確立するといったようなそういう対策をとる町どの対策ということです。以上です。
0:22:26	じゃあ運転が警報を見て操作するというので理解してよろしいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:32	違います。これは事前に対応するというので練ってなくてと
0:22:38	はいメンテナンス等で1台待機除外するときにその合併の復旧不要な負荷と いうのを常に先に確認しておく、もし残り3台になるんですけども、残り3台 の運転になっているときにトラブルが発生して整理した約1台になってしまっ たときにも、
0:22:56	各科によってトリップと報告しないように、不要な負荷を先に切り離しをとって1 台で運転が継続できるようにですね、そういった対策です。事前の対策という ことで理解しました。ありがとうございました。
0:23:11	はい。
0:23:13	そのほかはいかがでしょうか。
0:23:19	次に、じゃあっていう趣旨ですかね。
0:23:22	じゃあすみません等、九州電力さん、次お願いします。
0:23:31	はい。
0:23:39	もしもし
0:23:44	はい。プレートスライド4ページ閉鎖しております連結の方にもご覧ください。
0:23:53	これについて進めさせていただきます。
0:23:58	本文の方よろしくお願いします。
0:24:05	はい。
0:24:07	カワツ
0:24:14	聞こえてますよ。
0:24:21	もしもし
0:24:23	すみません九州だけJANSIのほう、こちらの九州電力の発電本部のほうから 御説明させていただきたいんですが、ちょっとすみません、音声がかまたトラブル が起きているようですので、そういう出ますけどこっち。
0:24:42	それから、今、今、すみません。
0:24:46	カ、
0:24:50	すみません九州電力カワツです。引き継いで合計関係損益です標高でいただ いてますと意見交換事項の全体の資料で示されたハザードとフラジリティ評価 の高度化処理プロセスの確立及び確立後の
0:25:09	手法の見直しの考え方等の地震PRA津波PRA評価手法の改善の具体的な 計画及び内容を次回より詳しく説明して欲しいという項目につきまして御説明 させていただきます。弊社資料は右最後右肩4ページになります。
0:25:27	まず一つ目の丸、浜部プレゼンテーション評価手法高度化についてござい ます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:34	地震及び津波に関する現実的な評価手法の確立やデータ拡充を試みてございます。人たちが長期的な検討であることから適用可能タモンから準じ地震及び採否あるエリア取り入れていくものと記載させていただいております。
0:25:53	取り組み例として1で挙げさせていただきますと、より現実的な地震フラジリティ評価に資するために加振試験により、
0:26:03	VEGA配管システムの機能維持限界耐力評価を行い、データ拡充を図っております。
0:26:10	具体的には、NRCが有する、高加速度の加振が可能な加振台を利用して電動弁の加振試験による損傷データ拡充や配管エルボの曲げ試験により得疲労評価を実施してございます。
0:26:26	続いて二つ目の丸ですが作成プロセスを踏まえて高度化と。
0:26:31	記載させてくれば記載しております。まず執行権電力伊方発電所対象者2002年にかけて、実施しましたジャックスらしさをういた地震ハザード評価に関して、
0:26:43	他の個別プラントへ水平展開を行う場合ですが、専門家の確保実施期間の長さが課題となると。
0:26:51	特に専門家のリソースは限られておりまして、効率よく水平展開する方法の検討が今後必要となってきます。
0:26:59	席上であるRC2020年度から2021年度にかけて、長崎県の結果を踏まえた確率論的地震ハザード評価の実際のガイドを作成し、2022年度以降に知見等を実施する予定としてございます。
0:27:16	個別プラント撤去につきましてはその検討結果を踏まえ対応していくとしております。
0:27:22	数人にその他の項目ですけれども、内部事象PRAの改善の成果につきましても的に
0:27:30	外部事象PRAに反映していきます。
0:27:33	また人間信頼性評価手法の変更、SERP手法からB手法につきましては今後届け出へ反映する予定としております。
0:27:43	続いて、構成から5ページの資料になりますけれども、今後の改善計画を示させていただきます。
0:27:53	現状示させていただいてますの研究、
0:27:57	項目ですので、
0:28:00	現金で届けに反映できると思うというものはその他の人間信頼性評価手法の変更となっております。
0:28:10	九州電力から資料の説明は以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:15	づい続いて関西電力さん、よろしくお願いします。
0:28:18	会計関西電力です。ええと今し方の九州さんからご説明ありましたけれども、記載の内容につきましては、九州電力さんと同様でございますし、泊店補足するとすれば電中研さんの研究というのがまだオープンになってないものも多数ありまして、
0:28:38	残んページとかで見て読み取れる計画とかそういったところに記載にとどめているところです。関西からは以上です。
0:28:50	PR四国電力について菊地から御説明させていただきます。
0:28:55	当社分につきまして内容についてはだいぶん皆さんと同じ土木同じでございます、主に違うところを御説明させていただきます。右肩 3 ページの二つ目の丸の経営者効率を適用した。
0:29:12	確率論的地震ハザード評価を行うところでして、
0:29:18	伊方全部対応した確率論的地震ハザード評価が 2020 年に完了してございます。
0:29:24	各機能、参考資料については後で御説明いたします。
0:29:28	了解した拡充確率論的Cハザードによる建屋機器等の幾何GTへ新PRAの影響について次回届け出における評価に向けて検討中でございます。
0:29:40	150°Cを適用した確率論的Jイハラハザードによる時PIの実施はフラジリティ評価手法の高度化や特重施設設置工事の反映等を踏まえて実施することとしており、初回届け出が
0:29:55	5年後の再評価時となる予定でございます。
0:29:59	次の 4 ページはほぼ同様ということです。
0:30:04	それで、先ほど言いました参考資料がですね、資料、資料の右肩 1 ページから始まっておりまして、
0:30:11	11 ページのほうは判明違いますが、そんな仮定させていただきますが、ここでは閉国際的な基準だとか、特徴を書いております。
0:30:22	次のページの 12 ページにつきましては体性評価懇切
0:30:27	最後、13 ページ目ところが体制の役割、あと実績工程などをお示してございます。
0:30:34	四国電力から始めます。
0:30:42	以上ですかね、今中途切れちゃいましたけど大丈夫ですか。
0:30:48	四国電力さん。
0:30:51	はい。症例数が

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:53	13 ページの 3 部さんの説明で以上でございますが、トップ切れたところもございました御指摘にあります。いや、多分御説明は終わっていると思います。はい。
0:31:05	はい、ありがとうございます。
0:31:08	ちょっと総論的なところで渡したのミキヤですけども、
0:31:13	今ハザード切らGTなんかの評価で言いますと、
0:31:20	ここで最初に会見地震津波の現実的な評価手法の確立っていうのがまさにNRCで行われているという理解でよろしいですかね。
0:31:33	背景戦略やそういう御理解の通りだと思います。可能であれば参考などで、そのロードマップみたいなものを示していただく所各社って話ではないとは思いますが。
0:31:44	そういうことがあってそのうち、
0:31:47	どうなんでしょうちょっとどこまで細かい資料が公表されているか、一部非公開の話もあるっていう御説明がありましたけれども、
0:31:55	可能であれば具体的にどんなものが共通基盤で行われていて、それが科学者としてどう
0:32:04	取り組んでいくかというのが見えるといいなと思ったんですが、
0:32:09	いかがでしょうか。
0:32:13	関西電力のハシダですすいません別途弊社の企業であれば 6 ページのところに、今後のスケジュールとして矢じりを書いてあると思いますので、
0:32:23	NRRCさんのその公表されてる本ページから行くこともう少しここは御リークされた資料はあるにはあるんですけど、結構ごちゃごちゃ細か過ぎて、よくわからんのかなっていう気もしてもこれぐらいの矢じりでいいのかなと思って。
0:32:39	作成しているところです。ミキヤと、それでやろう取り込みっていうところも二つ目のポチになるのかもしれませんがその使うわけですよ。各社によって、
0:32:54	また折り込み時期とかは二つ目のポチ、そうですね。ただ地盤であれば、どちらかという確率論というよりは確定論的なところも震源の特性であったり電報特性であったりとか、
0:33:11	そういったところの検討しているので、どちらかという取り込まれる場合には、もっと前段側の許認可とかいうそっちになってしまうかなっていう気もするんですけど、すいませんちょっと結果がまだ見えてないところもあるので、何とも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:28	どのような形でどこに取り込まれるかはわかりませんし、確定すれば、多分、地層の同じタイミングぐらいに各社取り組んでいくことになっているのかなと思います。
0:33:40	はい。
0:33:43	じゃ、まずはちょっとこれは展張ハザードフラジリティの関係でございます。
0:33:51	斟酌で希釈。
0:33:54	すいません。規制庁の平賀です。九州電力さんが代表して伺いますちょっと聞こえる聞こえてますか。これで大丈夫ですか。
0:34:06	短径充電係数やっと少し音声落ちないかなあと感じますが、
0:34:23	規制庁平川です。
0:34:24	代表して九州電力さんに伺います。
0:34:28	当ハザードフラジリティ評価手法の高度化で取りクリーンでっていうのがあるんですけども。
0:34:35	電動弁、これについては、今まで加振限界で耐力がわからなかったものを大地震で、体カワークしていくっていうのはわかるんですけども。
0:34:47	はい変えるもの曲げ試験による疲労評価、これは疲労線図が持つ余裕をもう少ししっかり見ていくっていうことを何ですか。
0:35:05	いや、
0:35:12	九州電力です。少々お待ちください。
0:35:17	別に他の電力からすぐお答えできるようであれば、さっき多分同じこと書いてあります。
0:35:38	ただ、
0:35:40	全関西電力ハシダです。こちらの記載している内容なんですけれども、配管をあまり試験で何回も繰り返しの疲労与えてあげて、どこで壊れましたかっていうのを確認しにくう試験をしまして、それをすることによって、確か。
0:35:58	当する場合、
0:36:00	フラジリティが強くなる見込みだということで、また昨年中が外出概略的な結果が出てたんですけども、本音今年度もまだそれをやってるというふうに認識してます。その結果から与えられると、配管自体のいわゆる地震によるLOCA的なところが、
0:36:20	ほぼなくなるんじゃないかっていうふうな結果になろうかと思えます。ただPWRに関しては配管側は結構強いので、入れたとしてもそこまで大きく改善するのかなというところはちょっと疑問残るところありますけれども、知見としては、れようと思ったら入れるものが出ると、そういうことだと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:43	聞いてみられるのは一貫は強いつておっしゃったんですけど、ここ書いたからっていつてCDF、当試料は変わらないいつていう認識なんですかね。
0:36:54	関連ハシダですね、デジタル値としては変わるとは思いますけれども、いわゆるLOCAの発生頻度が下がるということと、多分緩和系としての途中に配管であったりとかの間のフラジリティとかも見てるはずなので、そういったところも緩和系の
0:37:11	体力も強くなるということは出ると思うんですけど、ただ、実際原料の各社の例えば機器リスト等で引っ張り工夫を見たときにそこまで配管系は良くないと私は認識しているので、PARの試験結果を入れたとしても、そこまで
0:37:28	改善効果が見込めるかという、ちょっとわからないかなってそこまで効果はないかなと思ってるいつていうことです。
0:37:38	そのフラジリティの中で、
0:37:40	当疲労の評価を取り込むいつていうことも、これは確立し、評価章として確立してるんですか。
0:37:50	そこをちょっと伺いたいんですけども。
0:37:53	／すいませんそういった意味では試験データとして、配管がもつともつというところはプロットしているので、または祖父母のフラジリティとしての取り込み方のところはもう少し検討もやって検討予想あると思ってます。
0:38:15	それで今日、
0:38:19	ありがとう航路指示評価指標が多分能力ベース応力ベースで今多分整理されてると思うんですけど、これ疲労ベース。
0:38:31	RIフラジリティ書いてるんですが、そこはちょっとわからないのか。
0:38:36	必要な酸素すいません。今までヒロベースでフラジリティ評価はなされてるんですか。この
0:38:47	FSARの中で、
0:38:51	すみません疲労ベースは入ってないと思ってますそういった意味な応力によるこの耐体力を見てその広がりの中腹なかったからいつて応力が大丈夫なのかっていうところはあろうかと思うんですけど。
0:39:08	うんうん。
0:39:10	すみません、ちょっとそこはしっかり確認しないと、正しい答えが回答できないかなと思います。
0:39:17	もしかしたらそういったところも研究をするに入るかもしれないいつていう認識でよろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:26	二目のハンダです。フラジリティ手法の高度化の研究の中でこれをやってるってところはあるので、最終的にそのフラジリティの高度化にいたのを落として、その白も含めた上での最終的なその配管のフラジリティの
0:39:44	地区別かね体力の強さを
0:39:49	が確認できたかどうかというのが最後のアウトプットになると思うので、そこはちょっと各確認が必要だと思います。すいません今ちょっと手元に答えがありません。
0:39:59	はい。
0:40:00	わかりました。
0:40:02	ありがとうございます。離隔のあの規制庁ミキヤですけども、
0:40:08	限界とか最大応力ってのは、
0:40:12	各データの拡充てわかりやすいと思ってるんですけども、拾って全然別の指標じゃないですか。
0:40:19	その手法として何か確立しようという大きな流れはあるんですか。
0:40:33	まさに6ページ目の関西電力の資料で言うと6ページ目のところで、そういう流れがあるのであれば、
0:40:41	そこが見えるような何か線が欲しいなと思ったんですけど。
0:41:05	はい。
0:41:19	。
0:41:22	はい。
0:41:23	取り組む必要があるかないかなというんで、低燃費触れるが強いとっていたんでそこまで質問なんか。
0:41:32	いうところが、
0:41:36	じゃあ何のためにこれやっていく形になっていた関西電力のハンダですねちょっとこちらオープンされてない資料から、
0:41:45	ちょっと話をしますけれども、これよろしいんですかね。
0:41:52	はい。
0:41:54	これ録音ですけどよろしいですね。
0:41:57	はい。
0:42:00	うんや言っちゃっていいのかがあれなんですけど、要は、そのことから、
0:42:07	当本入れればよろしいじゃ想定しているような応力によって破断が生じてないってことを確認した上で、低サイクル費用が配管の破損モードであるのではないかという流れの中から
0:42:23	データどりが始まっているところがあってですね、いわゆるその応力よりも広いのほう弱いと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:30	なので疲労側のほうで見ましようとなっても、そのデータ的には、
0:42:38	結構強いです。においても強かったということなってるという流れになるんですけど。
0:42:46	はい。
0:42:51	なるほど。
0:42:53	販売公開資料ではこういった取り組みを紹介をされていないということでしょうか。いや、ぜひやるんであればそういったものも、
0:43:02	縦にある以上ちょっと何かぜひもう少し御説明いただきたいと思うんですけども。
0:43:08	線表に入れずとパワーすいませんカンノさんの先ほどの公開されてるのとマップで少し細か過ぎるものねっていった中にも、一応その従来のあの弾性範囲の評価を置き換えるそのKm疲労断層のこの式をとか考慮したような評価手法を整備しますっていう、
0:43:27	文言が書いてあるようなものも一応にはなっているので、その流れの中でどうこう研究が進みますかみたいなところを少し
0:43:35	家書きたいと思います。ただ、今書いてある矢じりのところが、その累積疲労評価の整備として、
0:43:45	これただ去年、去年まで終わっていることから、これが、
0:43:50	今日はちょっと書き方を工夫しますけども、そこまで
0:43:53	これは大きくありかな。
0:43:57	今一応今年度までの線が引かれて会計的なところが少し書いてあるようなそんなの図に来変えようと思います。
0:44:20	はい、わかりました。その他ございます。
0:44:30	上Webの方からも何かあればぜひすみませんニシムラですけど。
0:44:37	どうぞ。
0:44:38	一つだけよろしいでしょうかとどこの社でも構わないんですけど、当電中研のその研究ロードマップの中で、
0:44:46	建家の三次元FEMの解析、
0:44:50	に関する共同評価っていうのがあると思うんですけど、電力各社さんでこれを取り入れていくっていったって、
0:44:58	何か計画ありますでしょうか。
0:45:03	以上です。
0:45:06	1000 基バックには今寝てないレベルですかね。
0:45:11	関西電力の 6 ページ目で言うと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:15	今の電力脱皮できなくて電中研のけえと公開性を研究炉のマップに出てるんですね。
0:45:24	地震フラジリティ建屋っていうところなんですけど、いずれかの地震PRAの活用中で、
0:45:33	入れる予定があるのかなという単純な疑問とか質問です。
0:45:38	すいません関西電力のハンダですとぴあも専門部会の濃くないんであれなんですけど、私の知ってる限りではそのままでも三次元FEMやってるのは承知はしています。ただ、仮にその三次元FEMを取り込もうとしたとしても、今は
0:45:59	ですから串団子のそのモデルでもって、応答係数を介して耐震評価してるっていうところもあって、この建屋等設備等のそのつなぎのところとかどうすんだとか、まだまだ課題がある読めというふうに聞いてまして、
0:46:16	そういった意味では三次元側建屋側も三次元の研究研究で進めているんですけど、それを導入するにあたっての公としてはまだできてないところがあるところだと考えております。以上です。
0:46:31	わかりましたありがとうございます。
0:46:36	はい。
0:46:38	令和次者、
0:46:40	カワヅすみません規制庁フジモリですけど。
0:46:44	地震はハザードフラジリティ評価の線表
0:46:49	見ると、
0:46:51	フラジリティは今年度 10 ぐらいで高度化研究が
0:46:55	11 通り
0:46:57	もあると。
0:46:59	ハザードは平成 24 年度までの見ているんですけども、
0:47:05	ちょっとこのあまり詳しくないんであれなんですけど、地震等予測モデルの定量的重み付け手法等っていうのが
0:47:14	2024 年度まで
0:47:16	言ってるんですけど。
0:47:18	この手法というのはかなりこの負
0:47:21	地震ハザードフラジリティ評価にインパクトあるよな。
0:47:25	ものは、ですからある程度もそのハザード評価を一通りそれ以外のものができてんだけど。
0:47:33	一部その高度化で
0:47:36	もうちょっと精緻になるのか、かなり進展して、
0:47:41	するために結構難しい。これ手法の開発なのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:45	ちょっとあまりイメージが湧かないのでちょっと教えていただきたいんですけど。
0:48:10	すいません関西電力のハンダです。こちらもちょうと吉番屋さんが出てないんで、詳細はあれなんですけれども、私の聞いているところでは、PARの震源の特性であったりとか、地震動の伝播特性サイト特性といったところなんです。
0:48:26	ある程度の影響はあるのかなとは思うんですけども、ただ、
0:48:33	おそらくその象徴詳細化というか、今わからないところ、その保守的に評価しているようなところの精緻化するようなその作業じゃないのかなと思ってますんで、この研究自体がそもそも画確定論側のほうも、その手法の高度化を図るといふふう聞いてまして、
0:48:52	結果してそれがハザード側にも反映可能なものも出てくるという流れだと思ってます。
0:49:00	ですので、影響があるのかと言われると。
0:49:07	例えば許認可で、
0:49:09	見ている地震動に対してはケミカル保守的であれば、
0:49:15	変更申請の必要はないとかそういったところはあるのかなと思いますし、その詳細化であれば、より厳しかったところを精緻にして現実的な評価ができるようになるということなのかなと思います。すいません。以上です。
0:49:32	はいフジモリですけど。
0:49:35	何か取り組み例がそのフラジリティの話は書いてあるんですけど。
0:49:38	ハザードの話はちょっと書いてないという。
0:49:41	何か少し説明いただくというのかなっちゅうこと。
0:49:45	あとちなみに借金のハザードとの関係はどうなんですかねジャックプロセスはまあ個別に
0:49:53	実務ガイドによる試験等をやっていく、それとはあまりリンクしないで、
0:49:59	ハザードのフォーム高度化っていうのは、
0:50:02	別のものとして全走るっていう感じなんですかね。
0:50:07	すいません関西電力のハンダです。斜角に関しましては、先般来ヒラノ話している内容と一緒にしまして要は4年3も4.5年と大分長期間にわたって専門家の方に判断いただいたということかと思えます。
0:50:24	そうしたときにやっぱり専門家のリソースであったり、キカン的なところもあってそれを一概にその水平展開していくっていうところは厳しいなんていうのが研究しているみんなの共通認識でして、そういったものをある程度共通的な中期に分けて評価するとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:42	何か手法がないかっていうのを今、電中研さんで検討されていると伺ってますので、すぐに個社展開っていうよりはもう少し水平展開しやすいような形を今模索していると、そういうフェーズだと思ってます。説明は以上です。
0:50:59	はい、すいません、あまり詳しくないんであれなんですけど、この宝ハザードと分けて咀嚼プロセスの確立が下にあって
0:51:08	ハザードの高度化、
0:51:11	その中ではその尺で行っているその地震ハザード評価の
0:51:16	見直してというのが完全に独立で、
0:51:21	やれるものっちゃうことなんですけど、ちょっとハザード尺の方があまり中身はわかかってないからちょっとずれてるのかもしれないんですけど。
0:51:30	結局尺部地震ハザード評価の場高度化みたいなことから思ってたんですけど、そういうわけじゃないですか。
0:51:39	すいません。上のハザードのほうは評価の仕方を新たに検討していくところだと認識しててね、北のほうは、評価の中身のその例えば、ごめんなさい。私もその値自身がそこまで専門ではないので、この式の適用だとか考え方だとか、
0:51:59	これロジックツリーの重み付けであったりとか、そういったところの専門家氾濫が
0:52:05	いわゆるエンジニアリングジャッジしてるようなそういったパラメーターをの専門家が集まって、これがいいよねっていうのを
0:52:15	確認し合いながら進めていってどちらかというとその評価の仕方の信頼性を上げるようなそんな作業上のほうは評価のやり方を考えていく作業ということなのかなと思ってます。すいません。説明以上です。
0:52:33	規制庁の儘田です。ちょっと私のほうから会釈プロセス。
0:52:40	はい。
0:52:49	それといえば9電の資料の所ページの今後の改善計画のところ鉄骨。
0:52:55	ここの中で、F1番目のなんてこと地震ハザードのところに、確率論的ハザード、会議長の高度化研究、特に定量的なものでしょうというのがあって、詰め替えと行目弊社プロセスの
0:53:11	#NAME?
0:53:14	いや、
0:53:15	認識ですと、折損シャープという。
0:53:19	もちろん、例えば地震等の
0:53:25	それをできるようなことで、
0:53:33	という方法を使って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:38	だからここで、
0:53:44	で、例えば下のほうで、
0:53:47	でやられてるそういう水着の手法というのがあると。
0:53:52	うん。
0:53:53	上の地震、
0:53:57	こちらのほうに、本社で開発された所確立された手法が反映されて、それとこの二つがもうすぐになるのかなというふうにちょっと私のほうで想像したんですけど、これはそうじゃなくて、
0:54:09	日の設定力基本的手法ってのは全く独立
0:54:14	書かれていた。
0:54:19	詳しく
0:54:23	ただ四国電力はこの工程表を見ちゃプロセスの確立の彼らも確立した。
0:54:29	で、
0:54:30	はい。ほんで工程表が、
0:54:32	京急電鉄はいちよつと関連の資料にないので、どちらかと聞かれた通りぐらいじゃ、まずは九州電力からいかがでしょうか。
0:54:55	そもそもこの地盤関係の御専門の方と、今日ほどこの社員も参加されてないですか。
0:55:04	九州電力からは地盤関係の専門家は参加してございません。
0:55:10	させております。四国電力も同じですが、ページじゃ同士が小学校0ヌマタ地へ
0:55:22	申請が出てやります。
0:55:26	それから今社内であれば、この後に回すかどうしましょう。
0:55:36	ヤマダが整理していただいて、
0:55:40	作プロセスの確立、一緒にやってやるんだったら何か同じ欄地震ハザードのところで、その下に落下拡大中4下から
0:55:50	一低くないなかもちよつと中身も踏まえて書いてもらって、少なくともだからこの定量的に重み付け手法等が取り組みで何も説明されてないんで何かよくわからないので、そこはちゃんとその説明も加えて、
0:56:07	いただければと思いますので、
0:56:14	はい。
0:56:15	関西電力のハンダです。すいませんちよつといまいち、今の御懸念されてる点のところは私の中に入ってきてないところがあるんですけど、先ほどちよつと私から説明させてもらったのがこの地震のハザードのところは、いわゆる
0:56:32	地方なり何なりっていうのを検討する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:37	枠として考えてその人の者プロセスのところは、そういった手法を組み合わせ てその評価していくそのプロセスのところを書いてあるので、いわゆるその上 の研究結果が出ようが出まいが、今ある現行の評価手法において、この評価 が妥当であるかっていうのを確認。
0:56:57	しながら進めるというのが下の着プロセスだと思うんですけども、窒素それ でも何か疑問点ってあるんですが、ここで終わって上が増えてるのはおかしい とかそういった議論なんになりますか。
0:57:10	いや、なかなかそう
0:57:14	ここはだから、
0:57:15	確認していただいて、今説明いただいたようなことであれば別に今のままでい いかもしれないし、そこはちょっと後日確認してくださいってということだけで すね。
0:57:25	わかりました。ちょっと社内効果確認したいと思います。はい。
0:57:33	場所。
0:57:35	いや、
0:57:36	ちょっとさ、
0:57:38	強み、
0:57:41	ちょっと中身の話はちょっと少し、
0:57:52	新築
0:57:54	病名と3ページを
0:57:56	一方、二つ目の丸のところ、特に3ページの上から二つ目のマル3プロセ ス。
0:58:05	タブセとする評価した決定とびあフェアへの影響についてと時間届け出と書い たんですけど、これ具体的に
0:58:21	四国電力の橋本でございます。現在伊方3号機については広島高裁の会長 の関係で、いつ運転設計するかってところがはっきりしないところあるんですけ れども、仮に3月に判決が出た話になってるんですが、そこで
0:58:39	掲載可能だというふうな話になりまして、さらに、今特重施設の設置工事をや っております、こちらが今年の10月を目標には進んでるんですけども、それ が予定通り等ありまして、統合運転再開という運びになりますと、
0:58:56	来年の5月6月といった時期が一つ目されてるというふうにご考えてございま す。以上です。
0:59:03	というふうにごちょっとお聞きしたのは、実はその一つへ投資とチェックマークの ところにある特重の反映をして設定の5年後の再評価値となっている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:14	このネット上に書いてあると近い届けているんでというのと、この5年後っていうのはこれは同じ時期の点、
0:59:23	目の次回届け出ですな。
0:59:31	人連絡のハシモトでございます。そういった意味では先ほどご説明した時期に次回の届け出ができるというふうに考えておきまして、それはまだ初回届け出から5年を経過してございませんので、所でもってのは、先ほど御説明した来年度最速でいうと、
0:59:47	来年度の届け出とまた別のタイミングさらにもう少し先のタイミングなというふうに考えてございます。以上です。
0:59:58	使うハザードの結果というのは検討すでに2020年と管理をした減っていく形アップの結果が出る使われて次回届け出はてそれがプロフィットかいわれ地域差連合に入って一応入ってした結果が出てくるというふうに考えておられるという認識で大丈夫でしょうか。
1:00:19	四国電力の橋本でございます。二つ目の丸のトレンの二つ目のところに記載してございますけれども、現在ジャック評価をしましたハザードを使ったとびあ宿構造物のフラジリティ評価を進めているところでございます。こちらのほうにストアの機器のフラジリティ評価というふうにならざるにずっと行くんですけども、
1:00:37	それも一定程度時間がかかりますのでそれを使っていわゆるの地震PRAをする、して、時間届け出に結果を示すというなかなか難しいというふうに考えてございまして、地震PRAへの影響評価につきましては、届け出時期とフラジリティの評価が完了する時期、
1:00:56	を踏まえまして、できる範囲で影響評価を行いまして、時間届け出その結果を示したいというふうに考えてございます。以上です。
1:01:04	わかりました。層序雇っへと地震は座屈試薬の結果最終的に出てくるのはやっぱり5年後もへ届け書の中で初めて確認できるということによろしいですか。
1:01:17	はい、四国電力ハシモトでご理解通りでして、5年後のタイミングになりますとおり、記載しておりますけれども、現在経過定検で設置工事を進めております特重施設でしたとか、そういった家前者の設備を見分かったそういったことも踏まえまして評価を行いまして、さらに
1:01:34	ショックプロセスを
1:01:37	評価しました。私は適用した評価といったものを実施してお示しすることを考えてございます。以上です。はい、ありがとうございました。
1:01:48	はい。
1:01:49	規制庁フジモリですけど、今のその5年後の再評価値っていうところの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:55	特重の反映についてなんですけど。
1:01:59	特重の範囲、先ほどの話だと今年 10 月を目指していると。
1:02:04	いうところで、
1:02:06	そのあと 5 年。
1:02:08	そうじゃないと出てこないですか、基本はその
1:02:12	設備施設設備の大幅な変更があったときは、PRA等も可能な限り、次の届け出で反映していただけてというのが基本だと思うんですけど。
1:02:25	そこはやっぱり評価に時間が特重入れた評価損だけ時間がかかるっていうことを言ってるんですか。
1:02:36	同じくハシモトでございます。特重設の設置経営に伴います影響評価につきましては、ちょっと次回のことで、評価結果を示すことを考えてございます。そちらではトップ 10 施設の中でもともに格納機の機能喪失放出へ防止の機能に着目しました。
1:02:54	評価を得た評価影響評価をしましてお示しすることを考えてございますので、ここで記載させていただいたのは、さらにそれに加えて会釈ハザードを踏まえた評価するということになりますと、その時間がかかるということもありますし、あの地震PRAが内的PRAをベースにしてモデルを構築しているということもありますので、
1:03:14	まず内的PRAのほうに地震後特重施設のほうで反映すると、さらに特重設の高さにつきましては、とSA農業も踏まえた上で評価するということを考えてございますので、そういったことをまず内的PRAで行いまして、そのあとにへと地震PRAのほうにそのモデルの
1:03:31	はい内 4 をフォローするといったことを考えてございます。
1:03:35	そういった段取りで作業を進めていきますと、どうしても人PRAに特重施設したりとか、保釈ハザードを適用する時間がかかって 5 年後の再評価時Aが一つの目安になると、そういったふうに考えてございます。以上です。
1:03:49	すみません、四国電力のナカガワですけど、少し補足させていただきますと、ちょっと誤解がないように初回の届け出は弊社の 2 年前に出してますので、そこから 5 年後ということですよ。で、先ほど橋本が申しましたように、
1:04:06	地震PRAを最後完成形をするのには別途内的いやとそのフラジリティ評価、あと地震PRAにモデル化しても、そのあと、さらに仕事としては精緻化を多分することになります。なので
1:04:25	細則をやるとしてフルスペックの地震PRAをやったら初回届け出たら 5 分後 5 年後学校年後のSARに入ることになるだろうと、そういうことでございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:43	一方でフジモリですけど先ほどの裁判の関係で次回届けがいつになるかわかんないという、その時間軸がよく。
1:04:51	やっぱこの5年後っていうのと次回届け出ないっていうところが関係がやっぱり
1:04:57	いまいち見えてこなければ、
1:05:00	場合によってはちょっとこの記載は検討してください。
1:05:05	すみません、四角の中で、おっしゃるとちょっと誤解を生じるかもしれないんで、資料は直したいと思いますんで、社内でいろいろ議論してますけど、当PRAのほうから言うと所帯から5年後にこの結果を出す。
1:05:24	採択そのぐらいかかるという話をしているのですね、ただそうは言っても、地震ハザードをした額で出たんだから、何らかのその地震PRAの営業みたいなのは早めにそれまでのFSARで示す必要があるだろうと。
1:05:42	そういうことで、次回のSARで何らかの形で時ひび割れフルスペックな無理ですけれども、考察を入れたいとそういう予定でございます。
1:05:55	はい、わかりました。
1:06:01	はい、そのほか尺管理者。
1:06:06	だったかと思います。
1:06:08	すみません九州電力の視点でございますが、聞こえますか。どうぞ。ちょっと今回のハザードフラジリティ関係の関係でちょっと
1:06:20	確認したいんですけれども、ご質問下校感として次回より詳しく説明して欲しいという内容で、今回NRCっていう緊急してる内容とかを概略記載したっていう状況で御説明させていただいたんですが、
1:06:37	規制庁さんがとび意見交換したい内容っていうのを具体的にもう少し説明していただけるとの地盤関係の関係者に伝わってよりよい議論ができるかなと思ったんですけれども、何か。
1:06:52	規制庁さんの思いであればちょっと教えていただけると助かります。
1:07:09	はい。規制庁の儘田です。もともと私がこれ。
1:07:16	説明いただきたいなど。
1:07:17	確かに前も今年にも書いてあるんですけど、その実際の行為者のプロセスをやるっていうところ、
1:07:26	いろんな
1:07:29	ヒラノ、コミュニティーの中での意見というものがネットの集約されたものがしっかりした結果、すべて
1:07:39	僕ら今こういう今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:42	ほかの電力会社のプラントにもちょっとはいそのすべて展開されるといいですねという、
1:07:49	ハンダ資料をもって、
1:07:52	この検討会でも、
1:07:53	電力側もそれに対しては鉄そうですねということだ。
1:07:58	ただし、搬送中の課題として、
1:08:02	下部機関が非常に
1:08:04	いろいろ課題がありますよっていう中で、じゃあその課題に関して、ここが喪失して展開する
1:08:12	今回カンノで
1:08:16	今回の資料、
1:08:20	実際と今年度と来年度ぐらいかけつつ、
1:08:25	でも、
1:08:27	もうやっています。
1:08:32	實際上ちょっと知りたいかって、
1:08:34	うん。
1:08:36	あれよ。
1:08:47	専門家が確保できない。
1:08:49	そういう状態で数でもここで得られた知見を効率よく水
1:08:55	今ちょっとどうしたらいいかということ、例えば、今回の伊方者の結果を踏まえて、まず床の実務ガイドというものに整理されてそれに対して、実際には存在を使ってそれぞれの
1:09:07	今どんな検討が
1:09:14	以前、蒲池伴線、
1:09:20	だからRCP
1:09:22	How出る
1:09:31	だって、
1:09:32	今回、
1:09:38	外部への恒設に基づいて、ちょっと中身としては、このようなカンノ目次とかそういうのも考えていくんだということがイメージしてわかれば、
1:09:48	今、
1:09:49	いうふうに私は思っております。
1:09:55	九州電力の芦田でございますありがとうございます。ちょっとNRRCの研究の進捗の度合いも含めてどのような御説明ができるかっていうところについてはちょっと社内ば電力間含めて調整させていただきたいと思いますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:12	借金の進め方についてまだ得られた状況で、今後の課題。
1:10:20	いや、進め方っていうところをどこまで詳しく御説明できるかっていうところは今後調整させていただきたいと思ってます。ありがとうございます。
1:10:32	規制庁フジモリですけど。
1:10:34	その地震ハザード、フラジリティ評価について、確か変えようでも山形対策監の方から
1:10:42	前からあまりこう進んでなくて、いつなったらちゃんとできるんだっていう話があったような気がするんですけど。
1:10:50	結局だから今大分もう進んでいてあとバー高校これぐらいの
1:10:57	言葉が残ってるよみたいな、さっきちょっと
1:11:01	評価手法の高度化使った場合にその評価のインパクトみたいな話を聞きましたけど、基本はもう完成しているだけだところこの部分だけがちょっともうちょっと高度かなり精緻化が必要ですよみたいな、そういう説明になると。
1:11:19	いいかな時期は試験なんですけどね。
1:11:27	すみません、関西電力のハシダです。今おっしゃられたような希望的なところにはちょっとまだ達していないのかなってというのが現状で山形さんのおっしゃってたようなことは、いわゆる
1:11:43	直結系の機器に関して、どこかが壊れたらもうそれで炉心損傷直結なるよねというところだと認識してます。
1:11:52	透明化も含めて、そういった設備のその体力的なところ、それをちょっと別段そのまま保守的だということは皆さん合意はするんですけど、じゃあどれぐらいの割合で、その直結系に行くのか。
1:12:07	これは例えば大規模な漏えいぐらいでおさまるのかとか、どういう割合で割り振れるかっていうところがやっぱり決められなくて、メーカーさんとしてもそういった意見なり何なりみたいなのところでの知見がない限りは、
1:12:25	正しくこれでいいよってということは言いづらいついていうところがあります塚部今話者区時地震動側のほうで車庫的なその専門家判断をやってますけど、少し設備側のほうでも、
1:12:42	専門家判断的なエンジニアリングジャッジの取り込み方みたいなのところをできないかというのを、まだちょっと検討しているような状況でして、もう課題がある子解決してて、もうちょっとすればいいよというフェーズではないのかなということなんです。
1:13:01	時間かかるのかなと思ってます。以上です。
1:13:07	はい、ありがとうございました本当はまず機能するんなるとすると、そういうところだったのかもしれないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:14	まだ今の資料上あんまりその辺は、
1:13:18	見えてこない。
1:13:19	感じなんですかね、この
1:13:22	いうことか金フラジリティの高度化研究、
1:13:27	の中にそういうのも入ってことなんですかね。
1:13:34	仮に実験データを集めるだとか、そのフラジリティの手法の高度化だとか、その研究要素的なところは、今そのNRRCさんの委託でもってやってたりもするんですけど、先ほどのようなところ、ちょっとまだ
1:13:51	まだその確実にできるかどうかというところも遠からずやってるようなところもありますので、そういったところ委託ベースでちょっと電力強度委託という形で検討はしているというところを入れると思うんですけど、その成果の見込みであったりとか、そういったところでまた語れるフェーズにないなんていうのが正直なところですよ。
1:14:10	ですので書いたとしてもこんな検討を始めてますぐらいの一行で終わってしまつて。うん。そのあと気づきをとりも耐えられないし、あまり今各フェーズなのかなと思って書いてないというのが正直なところですよ。
1:14:27	状況はわかりました。
1:14:40	規制庁ヌマタです。今のことに関してちょっと確認させていただきたいんですけども、やはり電力さんはもう直結事象はやはり地震PRAのある程度、
1:14:53	頻度の
1:14:55	最適なものだと私は理解してるんですけども、そこはやはり解決が難しいという認識でよろしいですか。
1:15:07	門をもうちょっとこの後のミヤモトによるんだと思いますけど、やっぱり今の評価から新たにこれがあと確定的にやるのが減った分、ちょっと難しいところあります。はい、それ私ガードお金がかかるから、
1:15:26	チェックをやってきて、なかなか難しい問題なんかに私は認識してるんですけども、それがまだ続くという認識ですね。
1:15:35	いつかは辺りが来るかっていうのは何かちょっと言えないと思うんですけども、そこも同じ考えと思っていいですか。
1:15:44	そうですね。例えばその専門家判断的なところである分岐確率を与えてあげて直結になるのは0.01%ぐらいでほかはそうならずに分解する勝手に分解することは、
1:16:00	いや、ちょっと待ったらできると思うんですけどそれが妥当であるかっていったところでやっぱり引かかってくると思ってまして、
1:16:07	その結果を示すのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:11	まだまだ先かなと思います。わかりました。難しい問題って今大部で出てきている直結事象にどんなことをイメージする中で土を適切にヌマタされ、
1:16:24	今言ったような人具体化すると逆に建家とかフラジリティといったいけないですけれども、あと、制御盤が全部なくなっちゃうんだとかそういう話だと思っんですけれども、その認識が一緒でよろしいですか。
1:16:41	そうですね。公開会合の中で山形さん過程直結の話されたと思っんですけれども、全く結局ケツに関しましては、ある程度、やはりそこは厳しいのかなっていうところがあって、あまりその精緻化の余地はないかなってというのが今結論として、
1:16:58	やってまして、
1:17:00	それ以外の機器が、例えばシームであったりある部位であったりとか、その構成部材の一つが壊れたときに、
1:17:09	この場で壊れたらもうフィックスするかに至るとか、そういう評価にしている部分、
1:17:15	んなと思っってます。
1:17:17	はいあそこは認識は多分一緒なのでやっぱりそこはやはり地震PRAの課題だというふうには認識はしてますので、
1:17:26	はい、今のプラミキヤですけれども、大飯 34 の例えばインナーコンクリートのSGダムになっちゃって直結っていうのも、建家直結みたいなイメージですかね。
1:17:39	そうですね 8 人も建家直結のイメージです。
1:17:45	はい。
1:17:47	そのほかございますか。
1:17:52	借金まで行きましたはそのたですね。
1:17:57	何かその他でございますでしょうか。
1:18:01	1 点ミキヤからの文書の一つではチェックの内部事象PRAの改善の成果についても適宜反映してきて、何を説明されてようとしているのかだけちょっともうちょっと詳しく御説明いただけますか。
1:18:15	すいません関西電力のハンダです。こちらのほうはどちらかというと受動的に外的なPRAとした受動的になるんですけれども、もともと内的のモデルをベースにいろんな地震損傷であったりとか、外部事象のスキームをかけていくんですけれども、そのベースを繋いできたわせること。
1:18:35	やって、その内的で考えているような起因事象であったりとか、故障率であったりとか、そういったものが取り込まれるということをこの表現にしています。
1:18:51	はい、わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:56	そのほかございますか。
1:19:01	それでは、
1:19:03	次にでもよろしいですね次じゃあお願いいたします。
1:19:08	ニノミヤを系統レベルPRAについてですけれども、
1:19:16	少しでもないようなレベルⅢPRAを安全性向上評価届け出で実施することについて事業者の考えを聞かせて欲しいということにつきまして回答差し上げます。一つ目の丸のところでございますけれどもSARの目的一般として記載しております。
1:19:32	安全性向上評価は自主的継続的に原子炉施設の安全性信頼性を向上させることを目的とし、原子力発電所のリスクを合理的に可能な限り低減することを目標に実施するものと考えてございます。このような目的にかんがみ、
1:19:47	原子力発電所の安全性向上の先の検討にあたってはより直接的な指標である現行の炉心損傷頻度格納容器機能喪失頻度に加えセシウム 137 の放出放射線量等の結果を活用することで実施可能と考えてございます。
1:20:04	レベルⅢPRAの実施評価にあたっては、自治体の防災業務計画を踏まえた避難等のオフサイトに係る条件を考慮する必要があることから、自主的安全性向上の取り組みを超えており、結果の公表についても、
1:20:21	国や自治体と相談させていただきながら安全性向上評価とは別の枠組みで変動していくことが適切適当であろうと考えてございます。地質一番下の丸についてですけれども研究状況さえしておりまして、評価手法の構築については、
1:20:38	原子力リスク研究センターNRCの研究マネジメントの枠組みの中で取り組んでございます検討の内容としては毀損するの特性ハグ知見の収集、国内で想定されるパラメータトン調査防災等データ入力手法検討、これらの
1:20:56	適用性の検討などを課題解決に向けた研究を継続的に進めていく計画でございます。当社の説明としては以上になります。関西電力さん、お願いします。
1:21:08	会計とか電力の永井でございます。と可搬の資料の右肩の7ページをご覧ください。
1:21:15	まず現場での考え方について四角の枠で困んだところでまとめておりますけれども、大きく九州さんの説明内容と変わらないかなと思います。
1:21:25	ママダのレベルⅢのPRAですけども、ママダの公衆への健康影響と評価するものと認識しておりますけども、避難道路午後対策いたところの効果も考慮して評価を行うというところがございますので、
1:21:40	A評価とかです、結果の通り、やがてはこれ関係機関と協調しながら実施する必要があるというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:48	安全性向上評価ですけれども、評価において実施するオンサイトの安全性向上の強化対策の検討についてはですね、より直接電子指標であるCCFCFF等の結果を活用することで実施可能というふうに考えてございます。
1:22:05	でふたがですね、レベル政治PRA自身がある場合についてはですね、9社さん御説明と重複いたしますので、内については開発いただきます破砕から以上になります。
1:22:20	庄原電力の方が見やすい四国の資料の右肩5ページ目のところで御説明の実績ます大きな内容につきましては九州電力3/3によって担当へと同様ですので0簡単でして説明しますけれども、四国の資料の三つ丸がございすけども、
1:22:38	やっぱり説明の前につきましては等安全高度化の目的というところを書かせていただきまして、93の一つ目の丸で患者さんの四角枠の下側のマルチその様と同じような内容を担ってございます。二つ目の丸がレベル2PRAの目的でやる実施する、こういうことをやりますよということを書かしてもらう。
1:22:58	これも93や、今回さんとおられないようになってございます。人三つ目の丸はらしいねさんのほうでやっている研究については開きましてこれも吸収缶とか瓶さんと同様でやっばいます。四角の開きいただき説明以上です。
1:23:17	はい、ありがとうございました。
1:23:19	ではこの関係でご質問ご意見あればお願いします。
1:23:38	すいません規制庁ニシムラですけれども、
1:23:41	どうぞ。
1:23:42	端的に各社さんへとレベルⅢPRAをやるっていう安全性向上評価届け出やるって実施するってことに対しては、前向きではあるけど課題もあるよねっていうような認識でよろしいですか。
1:23:58	関西電力のタブセです。安全個々の資料のところ各社書いておりますけれども、安全性向上評価ではオンサイトにおける事業者の活動ですね、そちらの方でどういうふうな危険がね、どういうふうなところが、
1:24:18	反映できるかというところをお話をするものだというふうに考えておりますので、安全性向上評価潮位レベルⅢのPRAを実施するという所話ではないのかなというふうに思っております。以上です。
1:24:35	ありがとうございます規制庁ニシムラですけど。それでちょっと私不勉強で申し訳ないんです。血糖安全性向上評価でオンサイトの安全性向上対策に限って検討するってあるんですけど。
1:24:52	関西電力なんて成立／明文化はされてはいないんですけども、事業者としてどういうふうに活動していくかというところの話を考えていくとですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:07	当社の資料で言いますと、オービックには自治体との関係機関と共通しながらというところの話になっている我々事業者だけで何かできるというところの話ではなくなってくると、今認識でございまして、アレイそういう内容ですね、どこ、
1:25:28	安全性向上評価の中に書いていくというところのはぜひといいますか、我々としては、事業者としてできるところというところから行くのではないのかなというのかなという理解しております。以上です。
1:25:43	ニシムラです。御説明されていることは
1:25:47	私の理解はできるし、国や自治体とか関係機関と協調しながら、訓練といいますのはそうだなというふうに理解はしてるんですけど、結局
1:25:58	あえて言うこともないですけど、安全目標の話に繋がるのかなと思っていて、
1:26:03	よりリスク評価をしていく上で最終的なゴールが決まっていなくてやりにくい。
1:26:08	何をどこまでやればいいのかっていうのはなかなか定めづらいところ、そういった意味で、最終的なレベルⅢまでやる気があるかっていうことに対する問いかけなのかなと思ったんですけど。
1:26:22	それに対してやっぱりいろいろ課題があるので、なかなか難しいよねっていう御回答だということではよろしいですか。
1:26:34	九州電力ニノミヤです。その日程等その通りの
1:26:40	同じ意見だと思ってます。以上です。
1:26:46	わかりました。ありがとうございます。以上です。四国電力のナカガワですけど、すみません、理科を開発して、先ほど根本の話をしていただきましたけど、やはりこの機会に会社としてというのは私の個人的な意見として聞いていただきたいんですけど。
1:27:04	将来原子力を継続的に活用していくにはもう安全目標の議論は可能医師数だと私は思ってますんで、それに対してレベルⅢPRAというのは、必ず必要になるというふうに思いますので、
1:27:19	ただレベルⅢはご存知の通り、そういう性質のもので、当社の場合ですと、ヒダカ3号機がそういう状態になっているということも踏まえると、
1:27:36	それと対外的にといいますか、当然数字も発表その出すことは今の環境は、それができないと思ってますので、そこはずっと将来必要な時期に信頼性が高い評価を実施する実施できるように、
1:27:56	計画的に肅々とまさにNRRCさんに頼んでやっていただきながらですね要素技術の研究に取り込んでいくと、今もそれをやってるというふうな認識です。
1:28:09	以上です。
1:28:13	ニシムラです。ありがとうございます。今日きょうの面談との意見交換なので、必ず決して

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:21	けしからんとかそういう話にならないと思いますので、事業者さんの考えを聞かせて欲しいということなので、
1:28:26	よろしいかと思えますそういう今どういうふうに関後レベルⅢPRAに対してどう いうふうにお考えになってるかというところで、ご意見いただてお考えを聞いた ということ、そういうこと、よろしいかと思えますけど。
1:28:38	すみません、私もタナカですけれどもよろしいですか。はい。今の議論ですけ ど、お手元の私の理解ですが、やっぱりレベルⅢPRAっていうのは非常にで すね、不確かさをすごく大きいものだと思てまして、
1:28:53	そういう意味でもなかなかその公開するにあたっては注意が必要だということ もありますし、そういう理解のもと、米国などでもですね、安全目標そのて る安全目標ありますけど死亡リスクとして定められてますが、実際使われて るのは、そのされる程度であります性能目標、
1:29:11	いうところを考てその辺はあるのですねなかなかこうあるⅢの数字をまだし ていくことの必要性もありまして降下時の話もあつてなかなか難しいのかなと いうふうに思てます。
1:29:33	ありがとうございますニシムラです。おそらくそれに越えてリスクコミュニケー ションの成熟なども必要になってくるんで
1:29:39	今すぐやてやれるかといった難しいだろうっていうのが私は個人的にはそう いうふうに考ています。
1:29:45	なので
1:29:47	総じて意見に沿うようないと思てんですけど、いかがでしょうか。
1:30:00	規制庁のミキヤですかねとこれは多分こちらの会議室向けに行つたということ なんですかね。
1:30:08	ちょっと多分これはいろいろ思もあるでしょうし、ちょっと今回は意見交換とい うことで、事業者さんのお考を伺うというニシムラさんの話でいいと思てます しそつから先ちょっとどのように考るかというのは介護の中で、
1:30:25	そういう意見交換を実際にしてもらえればいいのかあと思てますのでこれ以 上使う話は、
1:30:32	会議室の方ではんじゃないかなと思てますがよろしいですかそんな
1:30:39	ですから、ニシムラです。私は構わないと思てます。
1:30:44	いや、いや、
1:30:45	はい。
1:30:47	どうですか。
1:30:52	規制庁の平野です。レベルⅢPRAについては多分このあの会議では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:59	キャビティとしてはあれだよ配布山形さんから私に私としてはCode整備されてる椎谷求めるできる状態にあつてると。
1:31:11	述べたんですけれども、今、今の議論にあった通り、なかなか使い方は難しいということ。
1:31:20	モースそれは実際と思いますんで縮シウトウ必要個別の技術を積み上げていくというところはとても重要なことで、今はそういうことやるページだという認識だという。
1:31:31	特に多分考えました。それで、
1:31:34	そういうけど変わってきました。
1:31:39	そうですね。
1:31:41	もし仮に合併得るものがオフサイトの防災に関するところですよ。ですから、安全性向上評価の目的とするかっていうのは、
1:31:52	電力
1:31:53	文献だと思うんですけども、それは一番規模します。でもできたらいいなというふうに
1:32:00	1 研究者としては、
1:32:02	実際よっての議論ができたらいいなというふうには思います。
1:32:09	以上です。ありがとう。
1:32:15	はい。特段なければまた次に移りたいと思いますが、九州電力さんよろしいですか。
1:32:25	はい、九州電力シウトウです。続きまして、炉心損傷後の条件つき格納容器機能喪失確率を定義分析評価することは、さらなる安全性向上対策を検討する上でも有効な手段と考えるが、
1:32:41	事業者の考えを聞かせて欲しいということに対して、弊社の回答をさせていただきます。まず弊社の現状についてですけども、当社のさらなる安全性向上対策の検討については、
1:32:58	レベルはPRAでは、事故シーケンスグループ別レベルⅡ PRAでは格納容器機能喪失モード別に前CDFまたは全CFFへの寄与割合と発生頻度から安全性向上対策の
1:33:14	重要度を検討し追加措置案を抽出しています。
1:33:18	また別途安全性向上対策を検討する上で総合的なリスク軽減を図る必要があると考えております。具体的な例としては、玄海3号機届け出におけるさらなる安全性向上策の検討ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:36	と安全性向上評価の届け出書に記載させていただいたいただいているもの、後図として貼らせていただいております。最後の丸ですけれども、規制庁さんのご助言に対する当社の考え方としては、
1:33:52	° 条件つき格納容器機能喪失確率を評価分析することは、格納容器機能喪失防止対策の効果を立する上では有効であると考えているので、現在の当社の取り組みに加え、条件つき格納容器機能喪失確率の評価分析を実施し、必要に応じ
1:34:13	さらなる安全性向上対策を検討していきたいと考えております。弊社については以上ですかかり電力さん、お願いします。
1:34:23	はい、関西電力からです。関西電力資料の右肩 8 ページご覧ください。基本的な流れは先ほど九州電力さんからの御説明等のアゼツがちょっとこちらようつけてまして、上の方はですね①炉心定義、リスク低減に対策が必要な車両検討する際には、
1:34:42	先ほどサトウの手法でご紹介させていただいたような社内の判断目安と比較してですね、CDFCF合意アウトプットでこういったところ対応すべきかというのを抽出します。一方で下の段ですけれども、
1:34:57	リスク低減をするための具体的な対策の検討ですね、対しましては、ここに記載ございますように、起因事象の発生頻度、それから、そもそも炉心損傷を確立を下げておけば、格納容器のを機能喪失確認も下がるとかですね、こういったところを
1:35:15	条件つきの炉心損傷確率とか、条件つきの格納容器機能喪失確率みたいなところを見ながらですね、具体的な対策を選定しているというふうにまとめています。ですのでいただいた 9 に対する回答としましては、上の四角のですね、二つ目の丸ですね、対策選定に際しては、
1:35:33	起因事象発生防止、炉心損傷防止格納容器破損防止の各段階で効果的な対策を検討していますということで、条件付炉心条件つきの格納容器機能喪失確率につきましても破損防止対策の効果を考察する有効なしようと考えているというふうにしております。以上です。
1:35:55	四国電力のフジムラです。疾病者の資料について御説明させていただきます。右肩 6 ページのご覧ご覧ください。
1:36:05	基本的には各社さんと同様ということでこの二つのまね丸で書いてますけれども中身としてはほぼほぼ同じといったことになるとなっております。でも基本的に他社さんと同様でCDFとCFFといったところもとに初回の安全性向上評価では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:22	安全性向上対策の検討を実施してるんですけどもその中でも条件つきのこの突合格納容器の機能喪失確率についても一つの情報としては考慮しておりまして、込ま当然この情報というのは有用なものだということで、
1:36:39	今後も情報の一つとして活用していきたいというふうに考えておりますということで示しております。以上です。
1:36:46	はい。
1:36:48	はい、ありがとうございました。
1:36:50	これはどうして
1:36:53	これ、ニシムラさんからいきますか。いかがでしょう。
1:36:57	会議ニシムラです。条件、
1:37:01	まず最初の9がちょっと範囲を限定してしまってるかなという気がしてしなくもないのですが、条件つきな格納容器機能喪失確率の条件でと皆様路線損傷を条件とされているっていうことですよ。
1:37:18	例えば9電さんどうですか。
1:37:21	九州電力シウトウです。弊社が考えてる条件付格納機能喪失確率は
1:37:31	格納容器機能喪失頻度動を
1:37:36	価格の炉心損傷頻度ではあるとそれを格納容器機能喪失モード別というPDS別という
1:37:46	元手鉄と評価しているというふうに考えてます。
1:37:52	ニシムラです。つまり炉心損傷
1:37:56	スターという条件つきで核燃聞いての不確実を定義するともちろんそれはPDSに分類されることもあるでしょうけども。
1:38:06	ということですよ。
1:38:08	そうすると、多分条件条件を何にとるかっていうことで幾つか考えられて例えば昔に
1:38:15	古典的なやり方でいくと、いわゆるCCFP提案もしリアクションと現象が起きて格納容器を超えるかみたいな確率だったりしたことがあるので、
1:38:26	そういった意味でCCFPをどの定義していったらやるか、定義の仕方によってこの分析評価は変わっている
1:38:35	アプローチが変わったりとか新しい視点ができたりとか、
1:38:38	例えばその確認はできるの喪失モード。
1:38:43	入力いち構成だったと思うんですけど、αモードか新たに定義されたとか、
1:38:49	それに対する安全性等なのかって議論があったとか、
1:38:52	という話ができる。
1:38:55	だろうっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:57	哲学がこのQの裏にあるのではないかと私は思っているんですけども、
1:39:03	なので、今ここで今日説明されたこと自体が間違っていると思わないんですけど、もう一段飛び越えて多分9電さんだけですかね届け出書で
1:39:17	この辺ちょっと踏み込んだ分析をしていただいたことが超えたい4回の会合の行ったと思うんだと思うんですけど。
1:39:25	他の各社さんもそういった取り組みをされていくと良いのかなという感想を持っているということです。推奨です。
1:39:36	規制庁ヌマタです。ニシムラ会員今ちょっと緩く一部を新たにところが多分皆さんわかつちゅう台帳でもうちちょっと高角宇宙いただけますか。
1:39:48	すいませんニシムラですけども、NUREG150カードを1400かちょっとどちらだから、
1:39:56	約1100とかな指針格納容器破損頻度がどう考えるかっていう意味じゃ駄目だっているようなところの説明、
1:40:07	要はへも僕はミキヤですけど、僕の理解は損傷が起きてそのまま、ほぼイコールで格納容器喪失があって、そこら辺、
1:40:20	炉心損傷同時に格納容器喪失しちゃって済んだところ、全然などして例えばも緩和策もないの、もうちょっと分析とかすればもっと有効な対策って出てくるんじゃないかなってというような話が
1:40:37	今ここで、
1:40:39	何かもうちょっと分析してきちんと評価してて、
1:40:43	やってきます。
1:40:45	というような情報が得られるんじゃないかっていう話と理解してたんですけどそのそもそも設定が違ったんですか、それはちょっと合意のプロセスですね
1:40:55	また、私は解決するのあれなんですけども新損傷した後に、
1:41:00	事象進展があって、
1:41:03	格納容器の機能喪失に至るシーケンスが出てくると。
1:41:07	で、
1:41:08	炉心損傷した後脈々と続いたシーケンスの結果格納容器の機能が喪失しましたっていう頻度がいわゆるcfなわけですよ。
1:41:18	そうではなくて、炉心損傷したところが出発点として、そのうちどれぐらいの確率で格納容器の機能喪失に至るかっていうものがここで言っている条件付格納器の不確実なんですけど。
1:41:31	すごく路線損傷し速やかに格納容器の機能が喪失するとかそういう話じゃなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:36	炉心損傷を前提とした上で、格納容器の機能が喪失する確率は幾つですか て言うのはCCFPはい。ここで今提起されてるCCFPです。
1:41:47	かつては
1:41:50	格納容器の機能が喪失するっていうことは、
1:41:53	例えば
1:41:58	格納容器機能喪失モードに上がってくるような水素燃焼だったりベースマツ 溶融貫通だったりとかそういった
1:42:06	物理化学現象が起きて格納容器の耐性がなくなって壊れてしまいますって いう確率を個別に評価していたので、それヒダカCCFPというふうと呼ばれて いたこともあったというので、定期の仕方、何を条件とした上で格納容器は壊 れるかみたいな話を
1:42:25	どう定義するかで分析の仕方であったり評価の仕方であったり、そのアプロ ーチは答えが変わるっていうことなんです。
1:42:33	そうすると、
1:42:35	今の炉心損傷を条件として格納容器の機能が喪失するという視点だけで物事 を見ていると。これ以上安全性向上対策って何かもね。
1:42:47	かもしれないけど、違う視点で定義をして評価すれば、全然見てなかったけど こういう安全性向上対策出てくるじゃん。
1:42:57	という話があるかもしれないです。
1:43:00	そういった上で多分そのいろんな視点で分析をしていくことが有効な手段であ ろうと考えられるけど、それについて事業者はどう思ってるのかっていうのはこ こに書いてあるQだと思ってます私そういう解釈するんですけど。
1:43:16	なるほど。具体的な例として、かつて欧州 1400 とか入力一律剛性とかあの辺 のアメリカの
1:43:25	PRAのプラクティスの中でPRAをやったことによって炉内に水蒸気爆発って いうリスク要因が抽出されてですね、それ自体のリスクとあるのかないのかって 議論がされたわけですが、結果的に炉外水蒸気爆発リスクとしては、
1:43:42	追加よねって多分なってると思うんですけど。
1:43:46	それも一つの条件付きの格納容器機能喪失確率、
1:43:50	新たに定義されて、
1:43:52	強化した結果、それは影響が小さい。
1:43:57	そういうようなアプローチも実は期待されていることはなかろうかというのは私 の
1:44:04	感想です。
1:44:06	わかりましたミキヤですけども

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:09	一番最初にお話した多分みんな共通認識と思っている炉心損傷から出発して格納容器に行くっていうパスも全然否定してるわけじゃなくて、そっからもっと広い意味での拡大喪失炉心損傷から出発するようなものパスじゃないものも含めて、
1:44:26	両方おっしゃってるという理解でいいですね。
1:44:30	でも、基本的には炉心損傷スタートになっちゃうわけだと思うんですけど、このバイパスとか先行破損とか除けば、
1:44:38	あんたその何を条件にするかって言う炉心損傷っていう大きな枠で条件とするのか、もう少し
1:44:47	地点を狭めて、
1:44:49	条件を小さくしていく。
1:44:52	ので見るのか。
1:44:54	或いは、それこそ起因事象という条件で格納容器機能喪失というか定義できるのであればもっと大きな視点になりますよね。はい。
1:45:03	そういった意味でですね。
1:45:06	ちょっと今、御説明の中であった第4回の会合の中で九州電力がちょっと突っ込んでいかへ説明したっていうあそこら辺ニシムラさんいろいろと質問出されていたりもしましたけども、会うときの話って、いわゆるこれCDFから出発したらしい。
1:45:23	CFDですので、CCFPと。
1:45:27	違いましたっけ。
1:45:29	第4回で九州電力が整理をしてくれたのは、
1:45:34	CCFPを使って、
1:45:37	てはいるんですけど、炉心損傷に対する
1:45:43	格納容器機能喪失の割合寄与割合っていうのを、
1:45:48	強化してもらったんですね。
1:45:51	をすると要は
1:45:54	例えばいろんな、
1:45:58	単純にフリ縣市だけで見た。
1:46:02	場合には出てこない。
1:46:04	ものが見えたりして、ちょっと今資料を見ますので、すみません。
1:46:25	ふうん。
1:46:40	ちょっと細かい話のちょっと恐縮なんですけど。
1:46:43	九州電力の例えば川内1号機の届け出書第1回届け出書の補正というところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:53	PDSごとの全CDFに対する収益の割合っていう表か新たに入った店をね。
1:47:00	そうすると、
1:47:04	いわゆるそのCCFPとしてはおっきいんだけど。
1:47:08	炉心損傷に対する寄与割合が小さい。
1:47:11	から、全体としてリスクの要因としては低めだというものとか、
1:47:16	逆もそうですね。炉心損傷に対する寄与割合大きいんだけど。
1:47:21	結果損CCFPとしては小さいので格納容器に対するリスク要因としては小さいとか、
1:47:27	そういったものがわかってくと、逆に、
1:47:30	そうでないもの。
1:47:33	もうわかってくと。
1:47:35	そうすると、
1:47:36	一つの対角としてはどこからこう対策を打っていくかっていう、まあ、
1:47:43	一つの分析
1:47:46	方針義務に対する指針になってくるかもしれないなというところで、
1:47:51	／第4回の会合ではこの先も、
1:47:56	こういった整理学を
1:47:59	使ってみたらどうかという提案をして九州電力からは前向きに考えていきますという回答いただいていると議事録にもありますし、当共通認識だと思ってます。
1:48:13	ミキヤです。ありがとうございます。
1:48:18	九州電力さんに必要なんですけども、
1:48:22	出発点を踏まえて今日は資料でいうと、
1:48:27	三つ目の丸のところ、
1:48:30	引き続き有効と考えていて、現在の取り組みに加えて、
1:48:36	必要に応じて対策検討していく。
1:48:39	という話があるんですけども、
1:48:42	その第4回からこれまでの話として、
1:48:48	評価分析して現在の取り組みっていう話はここは具体的には何かに示されているかという、
1:48:56	上にあるような、玄海3号の例ということなんでしょうか。
1:49:02	九州電力シユトウです。
1:49:05	ここ資料で書いている必要に応じさらなる安全性向上対策を検討するっていうところで言うとその上の
1:49:15	京都図表とは関係がございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:19	CCFPについては現在も安全性向上評価はの届け出にプラント損傷状態別という形で記載をしております、
1:49:34	実際にその検討安全性向上策を検討する。
1:49:39	上では届け出上使ってるっていうような記載は書いてはないものの、炉心損傷側でCCFPが地域格納容器納付条件つき格納容器機能喪失。
1:49:54	確率が小さいのであれば炉心損傷側は炉心損傷前側で対策を考えましょうかとかそういうところ。
1:50:03	今使ってはいるものの、ちょっとそれ、そこから先の組踏み込んだ議論はまた
1:50:11	検討これから検討する。
1:50:14	していくのかなというふうに考えております。以上です。
1:50:22	ミキヤです。ごめんなさい今御説明ちょっとピンと来ない現在の当社の取り組みってこれどれを指してるんですか。
1:50:31	現在の当社の取り組みは上の表、炉心損傷頻度と格納容器機能喪失頻度をこのCFFへの寄与割合と事故シーケンスグループ別の発生頻度っていうもので、
1:50:47	重要度を割り振って、それに応じた対策を
1:50:52	行うということが現在の行っている。
1:50:56	対策案の検討でございます。以上です。
1:51:00	ありがとう。
1:51:03	これに対して、
1:51:06	ほかの四国電力、関西電力についても、基本的にそのこのところはまだ検討して
1:51:14	ます。
1:51:14	いうことで横並びが取れています。
1:51:19	いうところが今日の関西電力四国電力の御説明と理解していいですかね。
1:51:26	そういう検討分析をしていますよっていう意味では、
1:51:32	四国電力のフジムラですけれども理解でよろしいと思ってますので、一応弊社の資料の丸ポツ二つ目のところを書いていますけれども先ほどの9電さんがおっしゃっていたようなところで指示し、届け出の中で目に記載してはおりませんけれども、こういったCCFPといった指標につきましては、
1:51:51	まずCDFとCFFといったところ、基本的には格納容器の対策といえばCFFのほうが大きいといったところまで見ていくんですけどもその上で、CCFPといったところも一つの情報として確認しております、その上でレベルはどこで対策を打つべきとか、レベルIIのほうで対策を打つべきとか、そういったところの概略の評価の
1:52:11	その中で一つの情報として使っているということでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:18	或いは電力
1:52:19	よろしいですか。ちょっと。
1:52:22	方でも同じようにですね届け出の中にはPDS別の系統各部会条件つき確率ですね、9-は一応評価結果を載せておりました分析を細かくその記載するかというと、どこだとかありますけども対策のですね検討にあたってはこういったところも、
1:52:42	参考にしながら決定していると、例えばそのフィルターベントみたいなところで対策を挙げてますけども、そういったものはまさにその先ほどおっしゃっていただいた条件付がですね1だったりするものを低減するような対策になると考えています。以上です。
1:52:57	はい、ありがとうございました。
1:53:04	規制庁フジモリですけど。
1:53:07	なぜ各社まずこの条件つき格納容器機能喪失確率CCFPについて、今の届け出書でも数値は出してると思うんですけど、それを定義として、プラント損傷、
1:53:25	状態のことだけですかね、まずその辺ちょっと今の実際の
1:53:30	各社考えている条件つき機能喪失確率の定義を最初にちょっと
1:53:37	書いていただいて、今の届け出書でこういう
1:53:42	数字を出しているっていうところまでは最初ちょっと入れとてもらえますかね。
1:54:00	九州電力シュトウです。
1:54:03	今押しおっしゃられたのは、定義っていうのは、何でPDS別を選んだのかとかそういうことを
1:54:15	を含めて、資料に記載やそこまでという。
1:54:21	いやそこまでちょっと早いですから、条件付
1:54:24	機能喪失確率として今、
1:54:27	炉心損傷状態をもとに、その届け出書に
1:54:32	数字を出してるんだっていうところを明確に最初に、
1:54:37	それが定型的なわけですよ今各社の考える定義としては、
1:54:43	炉心損傷状態ごとのCCFPを届け書に記載していると。
1:54:51	書いてもらえればそれでできる十分だと思うんですけど。
1:54:55	はい。
1:54:57	九州電力シュトウです。了解しました。PDS別でだし。
1:55:03	CCFPを出しているというような記載を追記させていただきます。以上です。はい。それがPDS調達だけなのかどうかちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:13	見てないで定かじゃないですけどあの中に今の届け出書で出している数字はあって、それはだから、ただ数字としては出てるけど、
1:55:22	特段外届け出書の中でそれを分析評価はしてないけど、今後一応その中ではやって分析表から、
1:55:32	一応やってたっちゆうことなんですよ。
1:55:38	はい、御理解の通りです。はい。
1:55:46	九州電力の下にでございます。ちょっとよろしいでしょうか。今弊社のシウトウが痛いようにパワーポイントのほうには、現状届け出書に書いている内容の定期を記載させていただくとは思ってますけれども、
1:56:02	今回意見を聞かせていただきたいというふうに言われているこの9に対して、もともと先ほどニシムラさんが言われたような規制庁さんの中に考えもいろいろあるかなととらえたんですけど、この9に対して実際規制庁さんが
1:56:19	の意見交換したいという趣旨背景を教えていただけると、もっと議論が充実するかなと思ったんですけどいかがですか。
1:56:31	はい。
1:56:33	多分ニシムラさんが言った話も、
1:56:36	あるかもしんないですし、
1:56:39	どうすかね例えばDPCの話とかもあるかもしれないですね、ちょっとそこはわからないです。
1:56:47	議事録のことですけど。
1:56:54	やっぱり九州電力らしいんでございます。先日の会合を踏まえて山形対策監の発言とかもあったとは思いますが、そのようなところが背景にあってこのところを公開の場で議論したいという背景取りかえ、
1:57:11	きましたけどそのそれでよろしいですか。はい。
1:57:17	はい、わかりました。ありがとうございます。
1:57:22	このほか規制庁から何か言われますか。
1:57:31	じゃあ、
1:57:32	鈴木2は、ストレステストですね。お願いします。
1:57:42	テラサキタブセ
1:57:44	文章の下の比較ですね、ごめんなさい被ばくです。
1:57:50	すみません、被ばく説明させていただきまして、投資9電の資料の右上8ページをお願いします。
1:57:58	被ばく評価集めません。九州電力ニノミヤですと被ばく評価の結果について核種ごとの放出タイミング放出量線量への寄与を届け出書具体的に示すべきと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	考えるが、事業者の考えを聞かせて欲しいということで、一つ目の丸について、
1:58:17	出て向上評価における被ばく評価については原子炉施設の安全性信頼性向上対策の効果を発するため一つ境界での被ばく線量評価シート届け出書に記載してございます。二つ目の丸でございますが、被ばく線量結果をもとに有効な防護措置を
1:58:35	二つする上で特定の核種に特化した有効な防護大学はなく、被ばく経路ごとの線量企業の確認により、外部被ばく内部被ばくのどちらが支配的か把握することが可能であるということで、核種ごとの放出タイミング放出量線量への寄与を把握は必要ないと考えてございます。
1:58:55	当社の説明は以上となります艦隊電力さんお願いします。
1:59:00	はい。／される電力ナガエと／際の資料のですね、右肩 10 ページをご覧ください。関西の考え方についても、大きな意味では今の九州さんの御説明等まあ極端なと思っておりますけども、
1:59:19	まず最初の丸ですね、安全向上評価届け出には記載している公衆の実効線量についてはですね。
1:59:28	格納容器破損防止破損の防止対策等の安全性向上対策の有効性を示す一つの指標というふうにしてございます。
1:59:39	現状届け出書に被ばく経路ごとの線量評価結果が右下のグラフになるような形でですね、お示しておりますけども、こういった結果はですね、敷地境界外における和合町の場合電源とどういったものを一歩かなといった情報の以上になるものというふうと考えております。
1:59:59	今具体的にはですね被ばく経路ごとにどんな防護措置が有効かなというふうに整理しておりますけども、
2:00:06	これほど前クラックですとか再浮遊係数に記念内部被曝を聞くようなものであれば、これは安定ヨウ素剤復旧できない対比 5 お茶急場一歩
2:00:18	並行でクラウド外部にバック系グランド外部被ばくとは直接スカイシャイン線といったものに対しては、今屋内退避避難によって謝礼ですとか、そういった意味の措置をとるのが、いうことですよ。
2:00:34	そういうふうに整理できるのかというふうに考えております。
2:00:38	三つ目の丸ですけども、また、ここが御指摘のありました管理ごとの被ばく線量の評価というものはですね、特定の日に変えて何か有効な防護措置があるかというふうなところで考えると、私もそうではないというふうに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:54	そういったところに考えますと、ば防護措置の改善検討に対してそういった分析ってところの重要性というのは、各ないものというふうに認識してございます。／歳からの御説明は以上になります。
2:01:12	四国電力のカタガミですけどそこ電力の資料の右肩 7 ページ目を用いてご説明させていただきます。
2:01:19	弊社につきましても評価について、大きな方針につきましては溶断患者が一緒なんですけれども、弊社の場合は成功評価において実施する被ばく評価の目的ですとかFこれまでやってきたことを中心に記載をさせていただいております。
2:01:36	一つの丸で図書館媒体管理ではだせ被ばくのリスクの観点から進展基準への適合のために整備した重大事故等対処対策を含めた硬貨作成ため防護措置を考慮しない状況での駅周辺公衆の実施して実効線量を評価しています。
2:01:53	kAと評価に用いの両方を活用してきて被ばく経路ごとに部長級を整理して線量への擁壁停泊するとともに、敷地境界外のフィルム有効な防護措置のコードと加えましたが二つ下カバーしてもらってるようなものを届け出書のほうで考察を加えている。
2:02:11	ところで振って今後特需成長におきましても、一つ目の丸二つになるような観点でフィルタレント医師の評価を実施する計画としています。省令の御説明は以上です。はい、ありがとうございました。
2:02:25	こちら規制庁側から本件について何かありますか。
2:02:42	どちらかという海外ホームページに直接お伺いしたほうがいいんですかね。
2:02:51	すいません規制庁ツカベですけど。
2:02:54	どうぞ、よろしいですか。すいません。そして根っこはあんまりその難しいことを
2:03:02	何か議論させていただこうと思って聞いたところではなくてもともとその各週ごとのものっていうのは簡単に入れるんじゃないのっていうのが、
2:03:13	もともとの中でのコメントでもあってですね、0. 下位の開放においては関連 3 から
2:03:20	これとゴトウ。
2:03:22	マックスで出ないっていう話で、グループ毎罵倒ですかっていう話で、
2:03:28	確認しましたような回答があったかと思うんですが、
2:03:32	ちょっとそちらについては公開等はどうなるんでしょうか。
2:03:38	またリングのナガエでございますので、今日の資料にはちょっとお示ししておりませんが、マークⅡですね各種グループごとについてもちょっとアウトプットができないというような形になってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:55	規制庁ツカベです。わかりましたって、ちょっと私もその坑道のことを詳しくないので、その内部のデータとして思ってるものを出力できないというのがちょっとどういう制約なのかがちょっとわかっていない部分もあるんですが、
2:04:12	そこはもともと出せるんじゃないのっていうのが、
2:04:16	こちらの本来去年式というか、
2:04:20	コメントをした出資です。
2:04:24	あとちょっと9電さんの
2:04:28	別名でそのあんまり必要ないというふうに書かれていますが、当然最初なのか要素なのかというのは、10中、
2:04:39	項目だと思いますし、罵倒コースのタイミングも、
2:04:44	実際は最初のところでぱっと出るということをやったのかもしれませんがそういうところの考察たり何なりっていうのは、敷地境界を考える上でも重要なんじゃないかなと思うのね若干この資料だけ読むと、
2:05:00	そこは気になりますねというのがコメントです。
2:05:05	はい。
2:05:06	セキチュー電力、ニノミヤですからの検討ちょっと記載の仕方については検討いたします。了解しました。
2:05:18	規制庁ツカベです。
2:05:20	去年出すのが、
2:05:23	技術的に難しい。
2:05:27	ですという
2:05:29	ご回答取ればいいのかそれとも書いてある通りの
2:05:34	ウダの重要性が、
2:05:37	あまり高くないので、
2:05:41	いいんですという御説明なのかというと、どちらと考えればよろしいですかね。
2:05:49	というのも
2:05:51	ソースタームなり何なりはちゃんと核種ごとで書いてあって、同じように簡単に 出せる通じなのであれば、同じ表に
2:06:00	とってもそんなおかしくはないと思うんですけど。
2:06:05	そのあたりについて何かコメントあればお願いします。
2:06:12	九州電力のニノミヤです。まずMACCSちゅうのアウトプットとしては、積算線 量が出る。
2:06:20	のみであって、各種グループなり、各種ゴトウからの寄与っていうのは、アウト プットとしては出てきませんで、それを放出放射エネルギーの割合等々で換算して割 合というのを出すというのも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:39	可能だと思って、そちらはまず高浜 3 関西電力の高浜さんのほうで各種
2:06:49	いう支配上位の 5 核種というのを出しさせていただいておりますけれども、一方、その防護措置、
2:06:59	今いようヨウ素剤まだ 1 回の届け出ではヨウ素剤の服用等で内部
2:07:07	今、
2:07:08	が支配的であることから、
2:07:12	防護措置を検討しましたがけれども、同じような検討する上では各週ごとというよりはもう
2:07:21	被ばくの結果で比うちの資料でいうと、表で示しておりますけれども、こちらの表で占領支配的なところを見れば、どういう核種が効いてるかというのは、検討が可能なので、防護措置としても検討が可能と。
2:07:39	いうふうに考えております。なので、一番最初の質問に戻りますと、ある意味では
2:07:46	構造上の制約でもありますし、その企業の区もそこまで詳細にはっていう意味ではいたのが Yes ということになるかと思ってます。以上です。
2:08:03	はい、規制庁ツカベです。御説明はわかりました。一方確かにアイソトープのすべてのものについての番号が何番だっという情報はそこまで重要かわからないんですが、
2:08:20	均圧 7 日摂取 7 日様子なのかというのは大体何かの出方のプロファイルというか、
2:08:29	しかもその時間、
2:08:32	放出のタイミングであるとか、
2:08:34	そういうところっていうのは、日評価されても、
2:08:39	いいところなのかなと思います。
2:08:44	すみません、これもコメントになってしまいました。
2:08:47	私からは以上です。
2:08:58	すみません関西電力のタブセですけれども、今ツカベさんがおっしゃったところは修練公衆の防護のために何が大事かという観点で、こういう分析が必要ではないかと。
2:09:16	いうご提案をいただいているという理解でよろしいでしょうか。
2:09:23	規制庁ツカベです。先ほどの議論ではないですけど、基本的には安全性向上評価っていいですか SA、
2:09:32	R についてはプラント側の評価をするものかと思っています。Steam 理由と時工事にイトウ岩から複数を防止するといったもので放出する。
2:09:45	プラントなのかっていうのを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:47	プラント側で考えてプラントが何か対策があるのかというのが検討されるべき項目じゃないかと思います。
2:09:59	関西電力のタブセです。先ほどサイト側の話ではないかというところのお話は私のほうからさせていただいたところですけども、／今そのどのタイミングで出るかというところの話については、どちらかで
2:10:16	その結果を受けて、防災側での議論になるのかなというふうに考ててですね、プラントの現在の設備のことから、これぐらいのものが出ますというところの評価プロセス評価になってくるかと。
2:10:35	いや、理解しております。
2:10:40	大まかなフローの制約があってこれをしないのかというところの話先ほど質問もあったかと思うんですけども、我々としてはですね、均圧であるとかヨウ素であるとかセシウムであるとかというところのご提言いただいておりますけれども、
2:10:58	それぞれ被ばく経路のところでも明らかにそのクラウドの中だとつす支配的だね、トマト吸入摂取ですね、これあの要素による1000線量だとCSについては粒子状ですのでグランドのところ効いてくると。
2:11:15	この大まかな合うというところができているというふうに考えておりますので、個別のですねその各種に対してどういうふうな線量がそれぞれどれぐらいかというところの話までは要らないのではないかと。
2:11:32	いうところで考えているというところでございます。以上です。
2:11:38	はい、規制庁使うで御説明ありがとうございます例。
2:11:42	鉄塔オンサイト側の話だという話が最初にあったんですけど、やはりそのどういう核種どのタイミングで達する可能性がある施設なのかというのは多分、オンサイト側のプロセスからの評価というお話でしたけどその話なんじゃないかなと私は、
2:12:01	もういます。あと、この制約プールとどこまで各科の話は、
2:12:08	多分barというよりも会合の場でやらせていただいたほうがいいのかと思っております。以上です。
2:12:19	はい、そのほかございますか。
2:12:28	じゃあ、
2:12:30	次はストレステストですかね。
2:12:40	我々、
2:12:43	はい。
2:12:55	九州電力さん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:59	すいません九州電力聞こえておりますでしょうか。はい、聞こえが発生いたします。
2:13:05	一方社会もすみません、九州電力の菅と申します。
2:13:10	それ意見効果項目について当初の考えについてご説明させていただきたいと思います。
2:13:18	当社の資料でいきますと再度 9 をご覧ください。ママダのそれセットの意見交換項目としましては吊り津波遅れ地方課において、建家の資料を超えた時点で一律に水没してとしているが今後脆化の時点でよい現実な評価
2:13:34	を行うべき考える側も事業者の意見を考えを聞かせて教えていくようなものです。こちらに対します当社も考えとしましては、ご提案いただいているような具体的な浸水区画を考慮する等の、より現実的な評価には活動的なつまり意味津波によりますそれを解析を実施し、
2:13:52	建家内の質量を設定する必要がありますが知り高さを超えた場合の浸水の想定等格差があると思っております、今の月の堰高さや他県を知る高さを用いて決定をもって評価する方が今のこの時点においては既設の改定な店を確認する合理的なやり方なのかなというふうに考えております。
2:14:12	また現在の承認を得られた苦しいついでを上回るような線沢山発生頻度しましては、お茶制度旧新光表に載せてるような辺りの通りでして、以前も 11 乗オーダーでやっぱり 10 日報だというふうな低頻度なものが得られてるかなと思っております。
2:14:29	これは基準津波の発生頻度と比較しましても頻度であることは確認できまして、今の省においても誘導を有してることについては確認できているのかなというふうに考えております。
2:14:42	一番下に記載しておりますが津浪に関する評価につきましては、引き続きフォローを行っていきまして、より現実的な評価が開発された場合には、そちらについても適用について検討して参りたいというふうに考えております。当社の説明としましては以上です。
2:14:59	要するに考え端的にお願いいたします。
2:15:02	すいません関西電力マルヤマでございます。関西の資料ではですね、右上 12 ページの資料で説明させていただいております。主なシナリオとしては九州さんと同じでございますけれども、弊社のプロパーの 34 号機大飯 34 号機の場合はですね。
2:15:18	建家に浸水しても新損傷に至るシナリオがですね絶対そして / 10 のマイナス 9 乗だっているところ、まあはるかに低頻度や低頻度にあるかなと思ってございますので、仮にまず評価を館現実的な評価をした申した場合、めくって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:34	東急さんにも説明にもございましたけれども、浸水量等をですね評価するといったところについてはかなり不確かさもあるかなと考えておりますし、仮にそういったところが改善されたとしても先ほど申し上げました定義の部分の一部がですね、案を削れるような形になるかって言うのかなといったところで、そういった観点からも優先度が低いのかなというふうに考えてございます。
2:15:54	ただしですね津浪に関する最新知見水プラスアルファ引き続きフォローさせていただきながら、必要な事故がございませぬ的に反映していきたいなと考えてございます。以上でございます。
2:16:08	続きまして四国電力ニシモンから省令の資料 8 ページに右上発生について説明させていただきます。津波に対する評価、現時点での評価について低頻度であるとかそういった基準津波に対して相当程度の裕度を有している。新知見、新しい知見が出られた場合には、適切に対応していきますというのは基本的に、
2:16:28	換算九州さんと基本的なスタンスは同じでございます。ただ、現実的な評価につきましては例えば浸水経路の考慮とかによって相対的に弱い区画を把握するとか、
2:16:40	そういった浸水に対するレジリエンス工場、そういったのを検討することはレジリエンスの向上に繋がるとは考えておりました、こういった新たな観点での評価についても対策の実効性でありますとか、評価技術の進捗の状況などを踏まえて検討していきたいなというふうに考えております。
2:16:57	今、外的事象の評価につきましては、発生頻度であるとか、弊社の立地条件とか、そういったことを考慮しまして他社さんの取り組みも参考にしながら、必要と考えられる自然率に対して評価をやっていくことにしまして、初回の届け出意向としましては、当火山、
2:17:15	事象に対する安全裕度評価でありますとか、先ほどらい話が出ております。地震に対するその尺のプロセスを適用した確率論的地震ハザード評価とか、そういった地震に関する許可の信頼性向上にも取り組んでいるところでございます。
2:17:31	以上です。
2:17:34	はい、ありがとうございました。
2:17:39	ミキヤですけれども、今ご説明いただいた内容で
2:17:45	前回の会合の中でも、
2:17:48	今すぐ
2:17:49	やってくださいという話はなかったなくて、
2:17:53	福島のところでも案内大きな津波があったんで。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:58	分母、
2:18:01	いずれかのところで、そういった津波に対してのっていう話があったように思うんですけど、
2:18:09	それに対しては基本的にしばらくはいいでしょうでそういう話なんですかね。
2:18:16	ちょっとごめんなさいえっと、羊蹄山の資料だけ三つ目の丸のところ、
2:18:22	弱い区画のハープなどの話があって、これは個々のプラントでも、
2:18:27	ホンダ地ですか。
2:18:30	いわゆる区画のか、今これは実際にこういった場合の水の侵入なんかも少し
2:18:36	検討してきますよという話ですね。
2:18:43	四国電力ニシモンでございます。ちょっとまだ具体的にちょっとどうやってやっていくかはあれなんですけど、例えばその相対的に弱い区画を把握して何かそこに打てる対策があれば打っていか、そういうところは何かできるんじゃないかなあとはちょっと号炉下に考えているところでまだ社内で議論が始まるか。
2:19:02	始まったところではあるんですけど、何か何かできることはあるんじゃないかなとは考えられているところというところであります機器と四国のナカガワ室内ちょっと補足しますけど、規制庁さんからそういう話があって、確かに。
2:19:21	社内で議論をし始めて取説の目的がクリフエッジの同定だけでなく、今日はいろんな頭の体操とか押してレジリエンス向上に資する、まあまあそういう切り口も
2:19:36	そうで目的にあるわけで、今地下階で一斉に機能喪失っていうことをやっているけれども、将来、例えばいっすPRAみたいなことをやっていく過程でですね。
2:19:53	現地調査して溢水経路を詳細にいっすPRAをやっていくような
2:19:59	将来的にはきっとそういう活動があると思っておりますので、そういうような技術的なそういう知見とかも踏まえながらですね、そういった新しい聞いても何かしらやりたいなというふうに
2:20:16	部に社内で議論して、我々もそう思ってます。以上です。
2:20:22	うん。
2:20:23	はい。
2:20:24	ミキヤですけども、
2:20:26	今各社さんの違いがあるのかなっていうのが御説明いただいた資料とよくわからなくて、基本的に頻度小さいからいいでしょう。加えて、今後一応最新知見というのはフォローしていくし、
2:20:39	なんかよりいい手法ができれば検討しますよっていうスタンスの中で、
2:20:45	四国電力様社内的に少し検討を始めました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:49	というイメージですかね、反射違いはあまりなくて、
2:20:54	ちょっと踏み込んだ回答が四国電力からはだってそういう理解でよろしいですか。
2:21:03	すみません、関連タナカですけれども、検討の四国さんの方もですね我々と同じ距離同じですね、クリフエッジそのものを現実的に見直していきましょうという方向での検討ではないというふうに理解をしております。我々はそういうふうに申し上げているのは、
2:21:19	やはりですねそうそういう方向で御検討して仮にその原石な分類が出せたとしたときにでもですね、それがそのさらなる安全性向上にながら繋がるかと言われるとですね、町の道路がなかなか方難しいなっているところもありまして、あんまり重要さたくないのではないかとこのように申し上げております。以上です。
2:21:42	四角の中です。我々も先ほどニシモンが説明しましたように、津浪の重要性というのは、今書いてある、我々でいってという地震とかあの火山、こちらのほうに、四国電力としては力入れてますけど。
2:21:59	何かせっぱ詰まって津波をやろうということではなくって、様々なそういう技術の進展等を総合的に勘案して肅々とやりたいなと思っているところです。色です。
2:22:17	はい、ありがとうございます。私が出てきたと思ってなくて、違いがあればあるほど逆に委員長がそういういろいろ
2:22:25	どんどん切り、1000 先に進んでやっていくところもあってもいいと思ってるんですけど、あまりそういう違いがないということですね、逆にちょっと残念でしたけど、はい。それ以外に何かありますか。
2:22:39	これよろしいですかね。
2:22:48	はい。
2:22:54	いつもの持ち分
2:22:59	九州電力さんです。
2:23:04	フラジリティじゃなくて、ハザード通知について、
2:23:08	センター。
2:23:11	上記マイナス 11 条とか、
2:23:19	そうですね、はいないし小さい通常運転ですけれども、こういう場合は、
2:23:25	オフィスは評価した結果をもっかい。
2:23:29	ほぼ意味がわからないっていう結果だけじゃないんですけど。
2:23:33	今、確率論的
2:23:35	また、評価

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:36	地震にしろ津波ってのはまだできてないんですね。
2:23:41	そういうとこ
2:23:43	これじゃ端的に不可欠などれぐらい考えてございます。
2:23:57	融資ご承知経費ウイルスの関連する
2:24:00	本籍超えておりますでしょうか。
2:24:03	うん。
2:24:05	はい。
2:24:07	を追加してますように聞こえたんですね。多分、先ほどヒラノさんから御質問いただいたと思うんですけど、多分性が強いられておまして、
2:24:21	路線もう一度お願いできたらと思うんですが、ですけどね。
2:24:27	ツカベ 9.6×10 のマイナス 11 乗炉年とか 10ー12、12 乗炉年とか、
2:24:35	数値が出てますけれども、この各社っていうのはどれぐらいというふうにご考えてるんですか。
2:24:41	はい。
2:24:45	大丈夫ですか。雇用者不確実さなんですけども、承知しました。少々お待ちください。
2:25:40	すみません九州に行くの管理することは津浪ハザードの値としては、平均値を持ってきてた。
2:25:47	最初のところなんですけどちょっと確率がどれだけあるかということについては、ちょっと確認させていただきたいと思いますので、ちょっと先に他の質問と
2:25:57	いただけたら助かるのですが、いかがでしょうか。
2:26:04	はい。
2:26:07	じゃあ、さっき説明がロジカル質問低角
2:26:11	多分、非常に拍車を保険ですよね。
2:26:15	これから確率論的なハザード評価をやっている各社定量化しようとしている段階で、
2:26:22	ですのでこういう数値を出すときには、お客様向けの要注意だっということをごっかにちょっと書いてあるとか、
2:26:30	しない。
2:26:31	はい。
2:26:32	なんぼ昔の安全手段
2:26:35	感じがします。
2:26:37	ほとんど起きない。
2:26:39	50 感じになってしまうので、あまりよくないんじゃないかな。
2:26:44	今日はします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:47	前に福島の前、
2:26:51	炉心損傷頻度が10のマイナス9乗だ話とか、
2:26:55	表情したような強い感想は小さい。
2:26:58	というのは、
2:27:01	各社が大きいので、
2:27:03	問題なんじゃないかというようなこと言われた。
2:27:06	記憶はあります、同じような感じになってしまうんですね、ちょっと休止しますということです。
2:27:14	ただコメントです。
2:27:17	一応ちょっと不確実さの幅等を今調べていただいているかと思えますので、それ踏まえて、その幅大きいのか、大きいものを作って考えて、数値としては小さいというふうに言うのか、そこら辺もちょっと含めて、セットで御回答を後で御回答いただければと思います。いいですかねそれで
2:27:39	はい、九州電力招致しましたありがとうございます。
2:27:42	では続いて、どうぞ。
2:27:45	規制庁フジモリですけど。
2:27:49	前回の会合でも
2:27:52	ストレステストの目的はあくまで限界値クリフエッジを求めるものであって、
2:27:59	又マタ確率が低いからどうこうっていう話は関係ないっていう話を
2:28:05	うちらカラーしてたかと思うんですけど。
2:28:08	確かに
2:28:11	そういうこともあって優先度は低いっていうのはわかるんですけど。
2:28:15	なんか一番最初にこのいきなり確率の話を持ってこられるとちょっと
2:28:22	論理構成上、
2:28:25	どうかなっちゅうところもあって、
2:28:29	どうぞ。
2:28:32	9電のやつは最初にやっぱりそもそものクリフエッジ評価が不確実性が大きいから。
2:28:39	そのあとに確率の話が出来てるってまだいいんですけど、ちょっと関連と、
2:28:49	4電は、
2:28:51	確率で最初に切っちゃっているっていうのはちょっと前回の議論を踏まえると、
2:28:58	気になるので、必要に応じて見直してください。
2:29:02	はい。
2:29:15	はい、四国電力ニシモンでちょっと文章の順番とか即効性ちょっと入って検討して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:23	きたいと思います。以上です。
2:29:26	関西電力も同じく切って検討させていただきます。
2:29:32	はい、では次特重をお願いします。
2:29:44	九州電力さん。
2:29:58	フェデックスさん、
2:30:01	すみません、私も九州電力のシノザキでございます。
2:30:05	まして、閉鎖指導できますと、右上にページ番号 10 番のスライドでございます。
2:30:11	特重施設導入後のPRAにおいて、重大事故等への対応に特重施設を活用する場合のイベント設定の考え方を次回説明して欲しいという意見交換事項でございます。こちらの値に対するその回答としましては、一つの丸で記載しております通り、
2:30:28	まず、a. 第 1 号の第 4 回時安全性向上評価届け出書のほうは特重施設へ設置後の発言届け出になりますか、その時におきましてフジイ施設の主たる機能である炉心損傷後の格納容器破損防止機能に着目し、
2:30:45	五つにはフィルターベント等によるリスク低減効果確認する予定としてございます。
2:30:53	実際に反映する考え方につきましてですけれども、二つ目の丸で記載しております、
2:30:58	SAの対応に特重施設を活用することで、新たに発生するシナリオの文献について検討を行いまして、それなおイベントツリーに反映することも考えております。
2:31:09	また追設概成設備の代替となるものにつきましては構造フォルトツリーでバックアップ設備として反映していくものというふうに考えております。そのイベントツリーフォルトツリーへの反映のイメージの下の図のほうで記載しております。
2:31:25	三つ目のポツですけれども、フジイ施設を炉心損傷防止対策として活用する場合の評価につきましては、設定値成立性等を検討しまして、川内 1 号機の第 5 回届け出以降の評価を実施する計画としてございます。
2:31:41	誰と四つ目のポツですけれども、特重施設の数の注記の炉心注水機能の活用によってリストの事象進展が緩やかにできるというのは四宮につきましては、炉心損傷までの時間余裕ってのを確保し、その時間において 3 機器の復旧ですとかそういったことによって事象を収束させることが期待
2:31:58	できるのかと考えておりまして、これについても定性分析などを含めて検討するここで考えてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:05	弊社からの説明については以上となります。
2:32:07	関西さんの方からよろしくお願いします。
2:32:12	はい、関西電力です。弊社資料右肩 14 ページでお願いいたします。基本的には九州電力さんの御説明と同じ内容でございます。特重施設の重大事故等への活用による炉心損傷鰻破損回避が可能となる車両については、
2:32:28	このシナリオイベントツリーに反映して参ります。特にそのお母さんに関するところではですね特重スプレイとフィルタベントによる管理放出シナリオ、こちらを追加すべく作業を進めています。さらに特重施設の炉心注水機能等ですね、事象進展が緩やかにするシナリオにつきましては先ほど九州電力さん御説明いただいたと同じようにですね。
2:32:47	時間余裕によるですね、機器の復旧、こういったところがどれぐらい効果があるかというのは、議決分析も含めて検討していきたいと考えているところでございます。
2:32:57	以上です。
2:33:02	四国電力フジムラです。弊社の資料を御説明させていただきます、右肩、
2:33:08	9 ページの①番のところをご覧ください。基本的には他社さんと同様になってくるんですけどもまずあの特重施設の重大事故への活用ということを考えた場合にはですね。特重施設の設備や、運用手順といった情報に基づきまして、時現実に携帯できる緩和設備や緩和操作、
2:33:27	これをイベントツリーやフォルトツリー法でモデル化するといったことを考えております。
2:33:31	その上で特重設置後の安全性向上評価では、まず、フィルタベント等モデル化した評価を実施するといったところと、その後の安全性向上評価において、
2:33:42	特重施設の炉心損傷防食も重大事故等への活用も考慮した評価を実施していくということを考えてございます。特重施設の重大事故等への活用手順につきましては現在整備中ということもありますので、今後整備返し大イベントツリー等の具体的な設定について検討していくということを考えてございます。以上です。
2:34:00	議
2:34:03	はい、ありがとうございました。
2:34:10	4 医師会
2:34:12	そう。
2:34:15	そこそこ省略さ二つに分かれていてそれをまだほかの支社はそういうことがわかりました。はい。
2:34:24	これは何か規制庁側から増員ます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:29	すみません、規制とのイトウですけですか。どうぞ。
2:34:33	どうぞ。
2:34:35	9 電さんの資料の 10 ページのですね、三つ目の部分なんですけど、この成立性の検討と簡単ですけどこれは特に精通をですね、モデル化したのキクチ成功基準を
2:34:52	解析してそれで西縁有効性を示してもらって、イトウ考えでよろしいですか。
2:35:00	九州電力のシノザキです。こちらのこの列島成立性ということにつきましては、
2:35:06	キクチ施設の
2:35:11	特重施設を活用することになってますもどういったシナリオが分岐が考えられるかということとして、二つ目のポツで記載して初のポツの
2:35:21	そのレベルⅡの丸で記載で起きたりしていますけれども、そのイベントツリーS波できるような記載にある分岐がないかですとか、
2:35:31	もしくはそのポート次にバックアップするような人はできないかとかそういったことを検討してその成立性をかけて検討して、実際に汚染損傷防止対策として活用することができなかったということを検討していくってことでございます。
2:35:46	すみませんイトウですべての成功基準解析までは考えてないという考えですか。九州電力の芦田でございます。補足させていただきますと、イトウさんが言われるように、成功基準解析も新たにしないといけないものもありますので、そのようなところも関係に含まれてございます。以上です。
2:36:06	規制庁のわかりましたじゃそれでじゃあよろしく申し上げます。
2:36:11	以上です。
2:36:14	そのほかございますか。
2:36:18	はい、どうぞ。
2:36:25	こちらページでしょうか。
2:36:28	説明する自動車カワツ恐れて今四国電力の説明資料 2 と①がワーッとよろしいですかね。規制庁あとしては、
2:36:42	ちょっと②の最後の説明がありますんで先にじゃあそちらお願いしてもよろしいですか。
2:36:53	はい九州電力の管理する。
2:36:56	今のお話は次のそうスガワラ話に移っても問題ないかというふうなところで理解してもよろしいですかね。11 番下にですね、承知しました。それではすみません九州電力の管理数特重設の扱いのストレステストの部分も当社の資料でいきますとスライド 11 のほうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:16	考えを記載しております。項目としまして意見交換項目としましては地震時のストレステストにおいて特集しての系統ごとに関係性を把握確認すべき込めるが事業者の考えを聞かせて欲しいというふうなものをいただいております。こちらに対する当社の考え方としましては、こちらサイド 11 の下のほうに
2:37:36	仙台のチーム評価におけるイベントツリーのイメージを記載しております、こちらの右下のほうの点線で囲んでるとこやるんですが、このような形でですねイベントツリーに特重施設を用いた緩和操作を追加しまして、関係性を把握確認していくことを考えております。
2:37:53	ヌマタの頑健性の把握のやり方としましては日クリップというふうに書いておりますが、こうしない予定損傷確率の略でプランジ評価の 5% 損傷確率する定数深刻度レベルを指しておりますこの加速度できるあって、
2:38:11	蘇生もとしてそのテストは評価しておりますのでこの辺りの形で確認をしていきたいと思っております。具体的なイメージとしましては先ほどご説明しました者のイベントというイメージのところ、今各緩和操作左から起因事象がありましてその右側のほうに行くついで緩和操作を記載しているのですが、
2:38:29	その上に数字を書いておまして、例えば大容量空冷式発電機からの給電であれば 1.15G というふうな形を記載してありますが、こちらがこの発電機からの給電っていう相談必要な機器のうち、最も作り部が小さい値を書きたいおまして、これはこのような形で特定施設のがん形成チームについて
2:38:49	確認ハーグしていきたいというふうに考えております。
2:38:53	挙手九州電力としましては、以上です。
2:38:59	関西電力でございます。関西電力の資料で右肩 15 ページ目でございます。九州さんと同じでどう書くかは昨日の日クリップをですね示すことで、頑健性について示すことができるかなというふうに考えてございますので、
2:39:14	ゲンタツ里道にイベントツリーではちょっとシマダ示すことができないんですけども、このイベントツリーに新たに追加する特重施設の方針として SPART しましてはですね、主力運転中の路線損傷であれば、特重施設の電源設備をですね空冷式の非常用発電設備の店バックアップ設備として待機するような形で、
2:39:31	中で一番多い縛り分町っちゃいものは何かといったところを整理していくのかなというふうに考えてございますし、ただですね、ほかの時ににつきましてはどのように考慮していくかについては現在検討中でございます。またですね、特重施設以外にもそんな反映事項としましては、作り出す

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:47	とめのですね、蓄電池についてを作り上げについては、既設つくれるのですねバックアップ設備として変えさせるとパターンですね先ほども説明ございましたけれども、RCPサトウシールについての保安していこうというふうに判断を
2:40:00	考えてございます。一方ですね格納容器損傷につきましては、フィルターベントの考慮といったところについてはやっしていこうと考えておりますけれども、その他のカワツの環境の向上につきましては現在検討中でございます。以上でございます。
2:40:16	はい。では続きまして四国電力ニシモンより説明させていただきます、右肩、9ページの下半分の②番というところでございます。基本的には関西さん九州さんと同じでございまして、イベントツリー状に各機器の耐力を示すことによって、
2:40:31	今後、機能ごとの頑健性っていうのは把握できるのかなというふうに考えておりました、計画的にその特重施設のフラジリティ評価なんかを実施していきたいというふうに考えております。
2:40:42	ちょっとカンノた 93 に比べてその特重施設ができるタイミングが少し後ろのほうになりますので、各社さんの評価事例とかも参考にしながら今後特重施設の安全性向上の程度っていうのを示し方についてはそれで新たな観点での評価についても検討進めていきたいというふうには考えております。以上です。
2:41:04	御説明ありがとうございました。ちょっと 1 個だけ確認なんですとミキヤですけど、系統として消え等の
2:41:15	何件設定、これで出てきて、
2:41:20	います。
2:41:21	設備ごとの日クリップはもちろん出てきますね。
2:41:25	最初に出てくると思うんですけど。
2:41:30	炉注とか、
2:41:41	すいません関西電力マルヤマでございます。今のミキヤさんからのコメントにつきましては、九州さんでいうとえいやのイベントツリーの上に数字が単点感じということで数字を書かれてるかなと思うんですけども、これは短期間委員の
2:41:57	耐震性を占めてるわけではなくて、その機器がちゃんと動作させるために、系統としてどれだけの耐力が 1 名の下端体力があるのかこう示しておりますので、そういった観点ではニーズにこたえられるのではないのかなというふうに考えてございます。
2:42:16	ミキヤですねと。
2:42:18	うーん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:21	これ、
2:42:23	特重の系統として見たときに、ここで、
2:42:29	これ言っちゃっていいんですよ今回はですよ。
2:42:32	特重施設によるスプレイト書いてあります。
2:42:36	ホンダ期の数字が何とか何とかという数字は特重がスプレイトするための
2:42:43	うん低い区分になるから。
2:42:46	既設も情報新設も含めての最も弱い数字がここにきているから、機器単体の数字ではなくて系統としての数字なんです、そういうことですね。
2:43:00	与えるマルヤマですがその積理解で問題ございません。
2:43:08	規制庁のヒラノですねというもの質問を続けてもらおう。
2:43:15	特重のスプレイト炉
2:43:17	0.0G減ったHzのところですけど。
2:43:22	これが今回この数値今評価していただくか出てくるという理解でいいですかね。
2:43:29	時間時間ですけど、ちょっと時間空間配置条件として注意して九州電力の管理されてこちら現在室内土壌が丸であって比較的な数字で記載させていただいておりますが、
2:43:45	今年の7月と6月に川内12号機それぞれわけで、第4回の総計を行うことを計画処理まして、その際には対応を入れた形で風景な法体させていただきたいと思っております。ただちょっと実際この値を入れて公開するかどうかというところについてはちょっと
2:44:03	まだ欲しい等と調整させていただきたいなというふうに思っておりますので、
2:44:07	引越し両側非公開の後ろに辺りが入る形になるかもしれませんが、例えば規制庁さん方にはお見せする形にはなるというふうに考えております。以上です。はい、ありがとうございました。期待です。
2:44:21	この上のほうの総特重ない。
2:44:25	このパスの成功パスれて70かこちらについてもですけども、これ実際には1.04Gですよ。
2:44:33	これは炉心損傷シナリオですから、炉心損傷
2:44:39	1.01につきましては結局1.04重故障すると、特重のそれリアクタービルでもヒダカ支店0Gを超え、
2:44:51	超えればこれでは
2:44:53	県、
2:44:54	頑健性が
2:44:56	いうことを通り開始してるんですけどそれでよろしいですかって質問なんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:02	はい、通信の患者数へとこのイベントツリー上の解釈としましては、そのような理解になるというふうに思っております。
2:45:10	はい。
2:45:13	それで、
2:45:15	そのときにですね、
2:45:18	はい。
2:45:20	のグループが 0.7gと非常にちっちゃな金なんていって、
2:45:26	これ／働かなくてもスプレイ特重スプレッドとフィルタードベントで
2:45:33	成功パスになるという。
2:45:36	考えですかという質問ですが、
2:45:41	背景と九州この管理そうこのイベントツリー上できますと／が 0.70gで失敗した場合は格納容器機能喪失というふうな
2:45:50	扱いになりますのであろうと、あと屈折に期待するというふうなシナリオというのは、そのパス江別異常はないような形になっております。
2:46:00	次に、
2:46:02	以上です。
2:46:06	これは一体分かれ
2:46:09	図面会社です。
2:46:11	別添意味です。特にフランスこれ特会独自の効果が見えないこの 0 になってますよね。ミキヤですけれども、
2:46:22	はい、九州電力の菅ですと効果といいますかすいませんここで示してるものとしましては、独自の系統ごとの耐力を確認する方法としましては、このような値見方が 1 例としてあるという形で示させていただいてるところです。
2:46:39	実際ちょっと同士があるかというところでききますと、現在評価中のところですので、具体的な話等は差し控えさせていただきたいなというところではあります。以上です。
2:46:52	適切
2:46:58	例えば、
2:46:59	条線台ちょっと幾つか飛ばしましたけど 800gで
2:47:02	800galで揺れたら、これ。
2:47:06	独自に行き着く間もなく
2:47:08	昨年、格納容器創出してますよね。
2:47:15	はい、給食の管理すそうですね。70 ついで上のほうのシナリオっていうのは、格納容器喪失に至るというふうな結果にこのイベントツリー状になっていっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:27	そこにタブセてる意味があるんですよ。
2:47:35	いや、対策計画というのは、
2:47:41	もし、
2:47:49	むしろ、
2:47:51	だから、
2:47:54	あと、
2:48:00	はい。
2:48:02	収支柵閉としてCCFPが1.0とそういう状態かということですね。はい、ここでは書けないんですね、例えば核計なんですよ。これですね、いわゆる宇宙自体はですね、当然それでここの
2:48:17	目次のところに入ったときに、
2:48:21	スプライトフィルターベントで
2:48:26	そもそもこの大分成功パスがあるんですか、そのときにPARがなくていいですか、処分する。
2:48:34	何かよくわからないんですよ。
2:48:39	質問はそんな感じなんですけれども、
2:48:51	前の方。
2:48:54	強化しないと、特殊結局今話し合っスクラムの中間そういうフォローするため、そうですね、そういう議論される症例
2:49:05	意味のあるでしょ。
2:49:10	というのは、やっぱり一緒です。
2:49:23	ある意味では平均そうです。
2:49:39	フジモリですけど、最初の
2:49:43	イベントツリーの設定のほうに戻っちゃうんですけど。
2:49:47	結局その特重どこでどう使うかって言うのは、
2:49:52	他いいできない。
2:49:55	話なので、
2:49:57	今事業者としては、
2:49:59	その届け出上どう考えてますかね。例えば
2:50:05	SAまでのイベントツリーは国会ようにSAだけの
2:50:10	あの辺りは
2:50:13	PRAの結果は出して加えて特重の入れどこでどう使うかを言えないと思って。
2:50:20	それは全部引こう回避し、非公開情報として提出をいただくんですけど。
2:50:29	届け出書のエリアを、結果だけは出していいと思うんですけど特需入れた場合の結果だけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:37	で、具体的などこでどう使うか。
2:50:40	細かいイベントツリーとは多分非公開情報でしかないので、
2:50:46	イベントツリーやっぱ二つ作った意図なんか。
2:50:50	そうしないかなと思うんですけどその相手事業者今どう考えております。
2:51:00	九州電力のシノザキです。
2:51:02	ちょっと現状と綺麗書に記載させていただいているイベントツリー等につきましても、現状も非公開で出させていただいております、特重を反映したのも一つのほうに合わせて配属となるのかなというふうに考えております。
2:51:19	全部非公開にした物理
2:51:23	一つだけ、何か大LOCAだったと思うんですけど、1 なきゃなら示した示したかなと思うんですけど、基本的には非公開で出させていただいております。
2:51:35	なんでそんな意味でしょうか。
2:51:38	まず九州電力のシノザキ率のイベントツリーについての商業機密に関わる情報でして、それを公開情報に載せられないということで、になっております。
2:51:52	何が商業機密報告。
2:52:02	はい。
2:52:22	ちょっと九州電力のシノザキです。そのイベントツリーのノ手法といいますのがそのPRAの手法が変わってくることがないことでもありますしそも
2:52:34	設備設計情報に関わることになるのかなというふうに考えておまして、普通の情報がその公にできないってこと事情がございます。
2:52:44	はい。
2:52:48	そうですね。
2:52:50	そういう認識なかったんですけど、
2:52:54	そうなんです。
2:52:59	すいませんちょっとニシムラですけど、少し補足をさせていただきたいんですけど、いいですか。はい。
2:53:06	過去の会合でPRA盗む公開性については何とか議論になっていて、PRそのものがそのプラントの脆弱点を示す情報であったりということがあって、なかなか全部を公開するのは難しいよねと。
2:53:22	いう話がそういう経緯があったわけですけど、その結果もあって多分段階的にAPRMの情報は非公開版のほうに移ってるというような認識でいいです。以上です。
2:53:37	わかりました。だからあれかその既存のSAだけの評価っていうのは今までの届けて数値が出ていて、そこと比較すれば 65 手順に入れた場合のその効果っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:52	見えてくるっていいことですかね。
2:53:58	ニシムラですけども、オーバーオールでの数字の推移というのはわかると思います。
2:54:02	ちょっと細かい話になってくると、
2:54:06	出せない情報でもありますし、それから非公開としてもらったときに、規制庁の中でも扱いをどうするかって話も多分あるんじゃないかと思えますけど。
2:54:17	今でも非公開等と秘密についていうか、体制をね。
2:54:21	特需みたいな発想から特重だから機密参加。
2:54:25	ですね、特重なると気密さんだけと今までの機密にですね。
2:54:30	はい、そうです。
2:54:34	すいません関西電力マルヤマでございます。今その特重の話があったかなと思うんですけども、どこまで誤開資料にかけるかけないかというところについてはまた別途社内でも議論させていただきたいなというふうには思っていますんで、非公開資料側にイベントツリーとかですねそういったところについては入れられるのではないのかなというところもあるんですけど。
2:54:54	でも、現場の面会の第7回の会合の前に
2:55:01	事前面談ベンダーの際に少し大分の特重の取り扱いとかについては議論させていただいたのではないのかなという認識なんですけれども、
2:55:09	引っかかって出すってことですね、ミキヤですけども、その話は置いて、
2:55:15	こう表現だと規制庁の中でも情報の取り扱いは皆さん特重の情報に触れられる方ですので問題ないという話をされたのかなというふうに認識したんですけども、その点はちょっと状況変わっているということでしょうか。
2:55:29	チーム医療特重退職し、
2:55:34	すごく変わってないままでやってないんですけどそういう方向性では変わってないです。当時申し上げた回れとフジイ0扱えるものというのはいえませんが、
2:55:45	基本FSARの担当は扱えるようにするという方針に変わりはありません。
2:55:52	であれば多分その非公開情報の中にそういった情報を入れても問題ないのかなと思うんですけども、ちょっとその辺りがまた出てが変わってくるようであれば我々としてもその非公開情報公開情報公開情報の中でも、引張扱いをしっかりと考えていかないといけないと思うので、ちょっとまたそこら辺についてはですねまた調整させていただくのかなというふうには考えてございます。
2:56:15	はい。
2:56:17	我々まだ確定完全に仕切っているわけではないので、そこら辺はできない。
2:56:23	相談させていただき、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:29	で、その他参考資料なんかもあったりしますが何かまだ御説明の戸数者の方はいらっしゃいますか。
2:56:42	フジイ
2:56:47	すいません九州電力の菅率、すいません説明資料残ってるというわけではないんですが先ほど当社のスライド9でかみさんの話でご質問いただいたところなんですよとすぐにあの辺りが出そうにないところでして、
2:57:02	ご質問の趣旨等を引きまして御質問とコメントの趣旨としましては、今チリ津波頻度が書いてまして、クリフエッジの平和①津波高さの機能今平気で書いてるような形で等できっちりな津波発生頻度よりもどンドン管理先の大きくなっているところまで、絶対値として
2:57:22	この辺りだけを記載するとちょっと誤解が生じるといいますか
2:57:28	いいとこ取りといえますか、そういうふうな変な解釈を与えてリスクしまうかもしれないというようなところがコメントの趣旨だと思いますので、ちょっとこのあたり、確実湾までの幅までできるかどうかわからないんですけど、値としては不確実さを持った値ですといった、
2:57:43	そのようなことがわかるような記載のほうに直していきたいというふうに思っておりますが、そのような形でもよろしいですかね。
2:57:52	はい。
2:57:53	結構ですということです。
2:57:57	承知しましてありがとうございます。
2:58:03	御説明は以上ということですが、規制庁側から全体通して何かございますかWebの方も何かあればご発言ください。
2:58:21	この会議室では何かご発言いただけます。
2:58:26	追加事項はないですかね。
2:58:30	事業者さんのほうで何かございますか。
2:58:36	すみません、九州電力ニノミヤです。被曝評価のところについてちょっと社内検討のためにもうちょっと詳しく聞きたいんですけども、さらに核種ごとの放出タイミング放出量線量への寄与っていうのはどのようなアウトプットをお考えですかね、放出タイミングとかっていうのは、
2:58:55	核種ごとの放出率とかそうそういったのをお示しするような形ですか。
2:59:08	規制庁ツカベですが、
2:59:12	そうですねそういう意味では多分新規規制基準のときとかに、どのタイミングで出るという。
2:59:19	評価されていると思いますけど、その時に各国主として、
2:59:27	希ガスだけを考えているのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:31	減損の扱い。
2:59:33	一緒にですね確か。
2:59:36	その辺の
2:59:37	評価の中身を
2:59:40	御説明いただくことになるのかなあと思っています。
2:59:46	九州電力ニノミヤです。了解しましたそうするとその例えばオフィスタイミング みたいなところは放出量の放出率という形で放出量はその積算値みたいなところを、
3:00:00	お示しするような形ですかねベそのオンサイト等を
3:00:07	何か影響というか、検討っていうのは、その中で、何らか、防護措置みたいな やつがアウトプットとして、
3:00:19	ちょっとこちらとしてお示しするような意味ですか。
3:00:23	℃とツカベして攻めちょっとオンサイトの対応っていうのをどこまで考えるかっ ていうのもあるうちのアニュラス部の
3:00:33	この系統構成でどれぐらいかかるとか、
3:00:37	いうことまで含めて、
3:00:39	何か考えるとか、いろんな考え方が、
3:00:43	できるかなと思ってますけど具体的なイメージを發揮多少今ないです。
3:00:52	九州電力ニノミヤです。了解しました。はいちょっと検討に
3:00:59	あと参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。規制庁の西 村ですけど横からすみません。
3:01:07	どうぞ。
3:01:08	今の話なんですけど、例えばスプレイ系が生きてる場合であれば、やるホール 最も放出度は相当くれまあとスプレイが途中で死ぬっていう前提ですけど、え えやろその例えば発作に遅れるけど。
3:01:25	が正常の薪ガスとかそういったものは割と先行的に投影していきますよね。等 等のシーケンスに従って放出タイミングとか量、あとその結果として線量に企 業っていうのが変わってくるじゃないかと思うんですけど、今のPET代表シー ケンス数では、
3:01:42	評価としてやりづらいのかもしれませんが、将来的にそういうシーケンスの特 徴を踏まえたソースターム評価ができるようになるといいよねっていうことなの だろうなと私は思っています。以上です。
3:01:57	九州電力のニノミヤです。イメージとしてはちょっと倍てきたかなと思ってますも とも我々の主張としては、それらの大枠としてとらえた時には経路別で見れ ば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:13	そういう検討ができるかなと思ってたんですけども、もうちょっとその詳細にということで理解しました。以上です。
3:02:24	すみません、関西電力のタブセですけども、今、九州電力さんの方からあった話はどちらもどこの有効性評価のその不確かさ評価とかそういう話をさせているのかなって印象を受けたんですけども、これ。
3:02:43	安全性向上評価でに形成の有効性評価のやり直しみたいなことをやるっていうことを言ってるんですかね、ちょっとそこは違うんじゃないかなと思ってんですけど。
3:02:58	ニシムラですよ私宛ですか。
3:03:03	今そうそうそうですねちょっと規制庁さんのフィートというかその有無何が想定したのかなってところがちょっと多く私わからなくなったものでちょっと見させてもらってます。ちょっと
3:03:23	その個人的な見解になっちゃいますけど、今 100TBqを超えるような評価ということでソースタームに対して保守的に厳しい条件で実態表シーケンスでとられて評価してますよねと。
3:03:37	そうすると、それはそれで有効性評価としては、そういうやり方をしてきたんだというふうには理解をしてますけど、結局安全性構造評価って実力値でどうなのよ楽しいにだんだんその視点が変わってきてるものだと思うので、
3:03:53	実際問題は保守的にソースターム評価差 100 程度なんだけど、実際はもうちょっと特徴が出てくるよねと。それが 100 テラ公園結果として、例えばこれないかもしれないし、やっぱり超えるかもしれないし、
3:04:08	それが多分ある前提にある考えだと。
3:04:12	そうした中でさらに細かく見ていくと、時間軸というのがあって、時間軸の中で各週ごとに出てくるものが変わってくるし、
3:04:23	例えば気が普通は出ちゃうけど要素が出てこないから。
3:04:28	今少し余裕があるよねとか接種が出てこないねとか、
3:04:33	対策が持ってるよねとかって話もあったりすると思うんで、そういった意味で、
3:04:40	これまで保守的な評価をしてきたわけですけど、もう少しこの現実ベースで評価するってことも考えられないのかってことなのではないかと私は思っているところですよ。
3:04:51	説明がありますでしょうか。
3:04:55	すみません関西電力の永井さんありがとうございます。そういった意味ではですね、代表事故シーケンスの何を選んでるかかっていったところ、保守的っていうところの御発言はあったと思いますけれども、これはもう検証にも記載しています通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:11	指標として、この 100 テラを超えるかどうかという温度で評価しておりますので、そういった意味では、その値例えばCV健全性の事故シーケンスの中で放出量の観点から最も厳しいものを代表事故シーケンスとして選んで評価している。
3:05:27	評価のやり方をしておりますので、規模からまたさらに政治家ところとはちょっと議論が違うかなというふうに考えております。以上です。
3:05:38	意見交換でお考えとしてはわかりましたけど、
3:05:44	それが評価評価としていいかどうかの個別の話だと思うんで、今後の議論の対象になるんじゃないかと思います。
3:05:56	会合で、
3:05:59	前回お話しいただいてもいいんでしょうか。
3:06:05	はい、そのほかございますか。
3:06:11	シェアは非常に
3:06:14	四国電力の菊地です。はい。
3:06:19	外的のAPRMのところでもいろいろご意見いただいたんですけど。
3:06:26	ちょっと今後の方向性について確認させて欲しいと思って気相部お伺いしたいと思えますし、環境の議論では具体的な計画と内容ということでリクエストがあつて、
3:06:42	レジュメ欠陥を含めた研究計画の中からピックアップして事例を交えたハザードから位置付けについて御説明させていただいたという状況なんですけど。
3:06:56	フジイないところが、
3:07:00	連中下段というか、全国代の研究の内容、それらを把握した上で、電力側がどのような計画成案として活動しているかということなのか、それとも電力側のこの活動の負担付して、
3:07:17	1例を挙げてこういうふうな要素技術そういう研究からをやってるやってる方について、成果が出たSIが入っていますというところでもいいのか、どういうどちらなのかというところでちょっと触れさせてもらったりといとは別に、
3:07:37	ナガエっていうとこですと堆砂の全体の事態となると、我々PRAだけは今日去年はイエスね、十分な理屈に対してお答えできないところもあり、展張下段の詳しい方とか、ちょっと検討県の方とか、そういった関連する部署で、
3:07:55	まず薬剤と影響みたいな広い評価額とかハザードのば強いところについて、十分な具体ができないんじゃないかと思ってですね、ローン官邸カタガミ令和の全体的な言及予想分布利点ワーク自体のばらつきも先ほど言った電力側の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:13	1例を交えて、SaaS的なところをお答えすればいいのかっていうところを確認させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
3:08:24	九州電力の資料でいうと、ただミキヤですけども、例えば4ページ目のところのこの記載ぶりということですね。
3:08:33	で、今回、
3:08:36	ページ5ページにあるような、このPRAの
3:08:44	ロードマップなり、別にあるNRCのどううまくもうちょっと詳細なバージョンも含めて御説明いただいたらどうかなどは思いましたけれども、
3:08:53	非常にわかりづらいというような御説明もありましたし、必要に応じて
3:09:00	今回御説明いただく内容で、
3:09:03	そういったロードマップで記載されていて、で自社で取り込んでいくっていうような流れがあるのであれば、別にNRCの地方ロードマップをコピーする必要なくて、必要に応じて、5ページ目なりのページ、
3:09:19	中に取り込んだ上で、各社で取り込む。そう各社の4ページ目のような事例につなげていただいた御説明になるともう少しわかりやすいのかなあというような話はあったかなと。
3:09:33	取り組みでという点で言うと、今1例を挙げていただいておりますが、教師のような話っていうのは何かズラーツと読むと、だんだん
3:09:45	携帯の加振試験の蓄積等プラスアルファのような気がする呼び方をしておりますが、今お話を聞くことによって何か全然違うような
3:09:56	尺度の
3:09:57	検討されているというような話もありましたので、役員疲労評価の資格であればもうちょっと詳しく、今後の具体性なんかも含めてどうしていくのかってのはきちんと御説明いただきたいですねということは要望として申し上げました。
3:10:13	これを俯瞰的にもっといろいろと教えて欲しいというのは、思いはありますけれども、今日面談ではそこまで私は申し上げたつもりはありません。
3:10:22	いやもちろん、1プライオリティとして非常に高いものももっといろいろありますよということであればぜひご紹介いただきたいなと思いますので、そこをご検討ください。
3:10:32	以上ですけども、僕はいいとなっておりますか。
3:10:35	焼結あいて趣旨はわかりましたありがとうございます。
3:10:40	はい。
3:10:42	規制庁フジモリですけど。
3:10:44	今の話まず相対的に言うと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:50	前のその説明資料が結局高度化高度化とだけってって、かなりがそのまま残ってってどこまでその合ってきてんだか全くよくわからなかったところがあるので、
3:11:02	なんちゆうんですかねさつきも言いましたけど、こんだけできてんだっただけでてるできてあとここをちょっとやるんだみたいな、相対的な話で、
3:11:13	いいと思っているんですけど、アマダから細かいまぼ
3:11:18	話っていうよりも相対的に電力としてここまで
3:11:23	やってだとこれぐらいっていうのがわかれば一番いい。
3:11:27	それにそれぐらいでいいかなとは個人的には、
3:11:31	思いますけど、あまり細かい話をしても、
3:11:34	基本
3:11:36	PRAMO事業者の取り組みとして、まずハザード評価、
3:11:42	FSAR地震や事業者取り組みとしてやってもらうものなので、相対的な
3:11:49	話で、基本はいいと思ってます。
3:12:00	はい、以上でよろしいでしょうか。
3:12:11	九州電力ゴトウです。内容についての議論は大体されたこの後スケジュール的なお話がございますか。
3:12:22	特に協力会であった資料で者が資料を修正されるのであれば、そういった
3:12:30	修正の時間とかを踏まえて、まだまずい面談やるなりも会をやるなりっていうところはまた後日調整させていただこうと思っておりましたが、今この場で何かもう決められそうですか。
3:12:45	またちょっと細かい話そこも入れていただいたところもあろうかと思えますので、ちょっと電力はもう何か意識合わせ等もやったほうがいいかなと思えますので、まだこちらまた何かまとまった意見があれば、シャッタついて調査していただければというふうに思います。
3:13:04	はい、じゃあ面としてはこれで終わりたいと思えますがよろしいですか。
3:13:11	はい、九州電力は大丈夫です。
3:13:17	関西電力の特にございません。
3:13:20	四国電力も特にありません。
3:13:23	はい、じゃあありがとうございましたこれで見直しをしたいと思えますし、すみません切れるゴトウですねそれだけ価値がよろしいですか。はいどうぞ。今まだ今後のスケジュールはまだちょっと、今後ということは同じだったんですが、介護の相対的なイメージでございますか。
3:13:42	これからぐらいあまりちょっとこちら大きい意味決め打ちしないほうがいいかなと思っておりましたんで、今申し上げる日程はありませんけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:51	わかりました。ありがとうございます。
3:13:55	はい、ではこれ資料面談もあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。